

令和元年度

「第1期郡山市ニコニコ子ども・子育てプラン」

実施計画

計画の期間：平成27年度から令和元年度まで

郡山市ニコニコ子ども・子育てプラン体系別事業数

()内は同年度で終了した事業数

施策領域	事業数				
	H27	H28	H29	H30	R1
基本施策					
1 子育て支援	52	51	51	50	50
1 教育・保育事業の充実	25 (1)	24	24	24	24
2 放課後児童対策の充実	6	6	6	6	6
3 地域における子育ての支援	11	11	11 (1)	10	10
4 子育て家庭への経済的支援	10	10	10	10	10
2 健康	63	62	58	57	57
1 安心・安心な妊娠・出産への支援	7	7	8	8	8
2 子どもや母親の健康の確保	43 (1)	42 (5)	38 (1)	37	37
3 思春期保健対策の充実	5	5	5	5	5
4 食育の推進	5	5 (1)	4	4	4
5 小児医療の充実	3	3	3	3	3
3 子どもに関する専門的な支援の充実（要保護児童支援）	42	42	43	43	44
1 虐待防止対策の充実	13	13	14	14	14
2 ひとり親家庭の自立支援の推進	11	11	11	11	12
3 障がい児施策の充実	18	18	18	18	18
4 職業生活と家庭生活との両立支援に向けた雇用環境の整備（仕事と生活の調和）	22	22	23	23	21
1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に向けた環境の整備	10 (1)	9	9	9	9
2 雇用環境の整備	4	4	5	5 (2)	3
3 男女共同参画社会の推進	8	9	9	9	9
5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）	87	82	81	79	77
1 学校教育の充実	29 (4)	26 (1)	25 (2)	23	23
2 青少年の健全育成と家庭教育の充実	21	21	21 (1)	20 (1)	19
3 居住環境の整備	5	5	5	5	5
4 都市環境の整備	13 (1)	12	12	12	12
5 子どもの安全・安心の確保	19 (1)	18	18 (2)	19 (1)	18
計	266	259	256	252	249

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 1 子育て支援			事業量					担当課	R01 評価	
基本施策 1 教育・保育事業の充実			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
施策の方向 1 教育・保育施設の需要量及び確保の方策			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	認可保育所等整備補助事業 ・開設準備経費補助 ・認可化移行可能性調査支援	待機児童の解消と保育環境の向上のため、計画的に民間認可保育所等の設置を図り、各種支援策を実施する。	計画	確保方策に基づき施設整備	確保方策に基づき施設整備	確保方策に基づき施設整備	確保方策に基づき施設整備	確保方策に基づき施設整備	こども部 こども育成課	△
			実績	保育所:4か所(うち分園2か所)、小規模:4か所、事業所内:1か所	保育所:3か所(うち分園1か所)、小規模:7か所、事業所内:1か所	認定こども園:2か所、保育所:2か所、小規模:4か所	保育所:5か所、小規模:1か所、認定こども園:1か所	保育所:1か所、認定こども園:2か所		
(2)	保育士・保育所支援センター事業	保育士を安定的に確保するため、潜在保育士の掘り起こしや就労相談や保護者に対し子育て支援に関する相談業務を行う。	計画	・潜在保育士の発掘 ・登録者の推進	・潜在保育士の発掘 ・登録者の推進	・潜在保育士の発掘 ・登録者の推進	・潜在保育士の発掘 ・登録者の推進	・潜在保育士の発掘 ・登録者の推進	こども部 こども育成課	◎
			実績	マッチング件数:50件	マッチング件数:76件	マッチング件数:85件	マッチング件数:60件	マッチング件数:67件		
(3)	施設型・地域型保育給付事業	認可または確認を受けた特定教育保育施設（保育所・幼稚園など）及び特定地域型保育事業（小規模保育事業等）を実施する施設や事業者に対し、給付費を支給する。	計画	対象施設等に対する給付費の支給	対象施設等に対する給付費の支給	対象施設等に対する給付費の支給	対象施設等に対する給付費の支給	対象施設等に対する給付費の支給	こども部 こども育成課	◎
			実績	対象施設:17施設 (分園は本園に含む)	対象施設:26施設 (分園は本園に含む)	対象施設:35施設 (分園は本園に含む)	対象施設:40施設 (分園は本園に含む)	対象施設:46施設 (分園は本園に含む)		
(4)	保育所定員の弾力的運用	保育所待機児童解消策のひとつとして、規模や職員配置、保育内容等に関する「児童福祉施設最低基準」を遵守した上で、定員以上の児童の受け入れを行う。	計画	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	こども部 こども育成課	◎
			実績	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施		
施策の方向 2 教育・保育の一体的提供の推進			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	幼保小連携推進事業	幼児の生活や発達の連続性を踏まえ、就学前後の円滑な接続を図るため、幼稚園・保育所・小学校の連携強化を推進する。	計画	合同研修会5回 相互授業参観15回	合同研修会5回 相互授業参観14回	合同研修会:5回 相互授業参観:14回	合同研修会:5回 相互授業参観:14回	合同研修会:5回 相互授業参観:15回	学校教育部 総合教育支援センター	◎
			実績	合同研修会5回 相互授業参観14回	合同研修会5回 相互授業参観14回	合同研修会:5回 相互授業参観:14回	合同研修会:5回 相互授業参観:14回	合同研修会:5回 相互授業参観:15回		
(2)	事業所内保育施設支援事業	事業所内保育施設の保育従事者が、研修会において意見交換することにより、施設間のネットワーク構築を推進する。また、児童の運動機能向上のために屋内遊具等を設置することにより、保育環境の向上を図る。	計画	スキルアップ研修の開催 屋内遊具の配布	スキルアップ研修の開催 屋内遊具の配布	スキルアップ研修の開催 屋内遊具の配布	屋内遊具の配布	屋内遊具の配布	こども部 こども育成課	◎
			実績	研修会:0回 屋内遊具配布:17か所	研修会:1回 屋内遊具配布:17か所	屋内遊具配布:14か所	屋内遊具配布:23か所	屋内遊具配布:24か所		
施策の方向 3 教育・保育施設の質の向上			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	保育士研修等事業	質の高い保育士の確保のため、保育所等で就労していない潜在保育士の再就職を支援する研修会を開催する。	計画	プランク解消研修会の開催	プランク解消研修会の開催	6回開催	5回開催	5回開催	こども部 こども育成課	◎
			実績	研修会:5回開催	6回開催	6回開催	5回開催	5回開催		
(2)	保育所改修事業	保育環境向上を図るため、年次計画により保育所の修繕や改修を行う。	計画	年次計画により実施	年次計画により実施	年次計画により実施	年次計画により実施	年次計画により実施	こども部 こども育成課	◎
			実績	改修:1か所 修繕:5か所	改修:1か所 修繕:5か所	改修:3か所 修繕:1か所	改修:3か所 修繕:7か所	改修:1か所 修繕:10か所		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 1 子育て支援								R01 評価		
基本施策 1 教育・保育事業の充実			事業量						担当課	
施策の方向 3 教育・保育施設の質の向上			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(3)	保育所耐震化補強事業 【耐震化補強工事完了のため事業終了】	旧耐震基準の保育所の耐震補強を行い、保育所の耐震性を確保する。	計画	うねめ保育所耐震補強工事	完了				こども部 こども育成課	-
			実績	うねめ保育所耐震補強工事完了						
(4)	認可外保育施設への立入現況調査	認可外保育施設は、認可保育所を補完し市民の保育ニーズに応える重要な役割を持つことから、保護者が安心して子どもを預けることができるよう、施設の現況調査をとおして、必要な助言を行い、安心・安全な保育環境の向上を図る。	計画	59施設	53施設	48施設	48施設	48施設	こども部 こども育成課	◎
			実績	61施設	54施設	46施設	52施設	48施設		
(5)	特定教育・保育施設等補助事業	認定こども園、保育所等の研修費や第三者評価受診費用等の一部を補助（市単独）することにより、保育サービスの質の向上を図る。	計画	内部研修:22か所 第三者評価:3か所	内部研修:30か所 第三者評価:3か所	内部研修:35か所 第三者評価:3か所	内部研修:41か所 第三者評価:5か所	内部研修:46か所 第三者評価:2か所	こども部 こども育成課	○
			実績	内部研修:10か所 第三者評価:1か所	内部研修:12か所 第三者評価:0か所	内部研修:20か所 第三者評価:4か所	内部研修:29か所 第三者評価:2か所	内部研修:34か所 第三者評価:2か所		
(6)	郡山市私立幼稚園施設整備費補助事業	老朽化等による園舎の増改築事業の助成を行い、私立幼稚園の教育環境の向上を図る。	計画	なし	なし	なし	なし	なし	こども部 こども育成課	×
			実績	なし	なし	なし	なし	なし		
施策の方向 4 多様な教育・保育事業の充実			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	ファミリーサポートセンター事業	地域における子育てサポート体制の整備を図るため、地域のネットワークの充実を図りながら取り組み、会員同士の相互援助活動を進める。	計画	会員研修・情報提供・相互援助活動	会員研修・情報提供・相互援助活動	会員研修・情報提供・相互援助活動	会員研修・情報提供・相互援助活動	会員研修・情報提供・相互援助活動	こども部 こども支援課	◎
			実績	活動件数:延べ2,383件	活動件数:延べ2,725件	活動件数:延べ3,137件	活動件数:延べ3,189件	活動件数:延べ2,186件		
(2)	延長保育事業	就労形態の多様化により、保育標準時間認定（11時間）又は保育短時間認定（8時間）を超える就労に対応する延長保育サービスを提供する。	計画	33か所 公立:18か所 民間:15か所	47か所 公立:18か所 民間:29か所	57か所 公立:18か所 民間:39か所	62か所 公立:18か所 民間:44か所	68か所 公立:18か所 民間:50か所	こども部 こども育成課	◎
			実績	37か所 公立:18か所 民間:19か所	47か所 公立:18か所 民間:29か所	57か所 公立:18か所 民間:39か所	62か所 公立:18か所 民間:44か所	68か所 公立:18か所 民間:50か所		
(3)	乳児保育事業	保護者の産後休暇・育児休暇からの職場復帰を支援するため、0歳児を対象とした乳児保育を行う。	計画	既存施設に加えて3号認定を受ける施設の整備	既存施設に加え3号認定を受ける施設を整備	54か所 公立:16か所 民間:38か所	59か所 公立:16か所 民間:43か所	66か所 公立:16か所 民間:50か所	こども部 こども育成課	◎
			実績	新規開設:9施設 (0歳児利用定員73名増)	43か所 公立:16か所 民間:27か所	54か所 公立:16か所 民間:38か所	59か所 公立:16か所 民間:43か所	66か所 公立:16か所 民間:50か所		
(4)	一時預かり事業	急な用事や短期就労など、子育て家庭の様々なニーズに合わせて、保育所及びニコニコこども館、幼稚園等において一時預かりの保育を行う。	計画	10か所で実施	10か所で実施	11か所で実施	11か所で実施	12か所で実施	こども部 こども支援課 こども育成課	◎
			実績	10か所で実施	10か所で実施	11か所で実施	12か所で実施	16か所で実施		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 1 子育て支援				事業量					担当課	R01 評価
基本施策 1 教育・保育事業の充実				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
施策の方向 4 多様な教育・保育事業の充実				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(5)	病児・病後児保育事業	就労環境の整備と保護者負担の軽減を図るため、病気で保育所等に通所できない小学校3年生までの児童の一時的に預る。	計画	4か所で実施	4か所で実施	4か所で実施	4か所で実施	4か所で実施	こども部 こども育成課	◎
			実績	4か所で実施	4か所で実施	4か所で実施	4か所で実施	4か所で実施		
(6)	保育所児童カウンセリング事業	臨床心理士が保護者及び保育士に助言と指導を行なうことにより、発達障がい等の保護者の悩みや不安の解消を図る。	計画	認可保育所で実施	相談人数:180人	相談人数:180人	相談人数:203人	相談人数:229人	こども部 こども育成課	○
			実績	相談人数:140人	相談人数:154人	相談人数:154人	相談人数:183人	相談人数:194人		
(7)	障がい児保育	集団保育が可能な軽・中程度の障がいを持つ児童の保育所への受け入れを行う。	計画	受入体制の整備及び実施	受入体制の整備及び実施	受入体制の整備及び実施	受入体制の整備及び実施	受入体制の整備及び実施	こども部 こども育成課	◎
			実績	公立25か所で実施	認可保育施設で実施	認可保育施設で実施	認可保育施設で実施	認可保育施設で実施		
(8)	郡山市保育コンシェルジュ「オアシス」事業	子育て中の保護者の相談機会の充実及び子育ての不安解消や子育て環境の充実を図るため、全認可保育所やニコニコこども館等で、子育てに関する相談や保育所・幼稚園等の施設及び入所状況を情報提供する。	計画	随時	57か所で実施	69か所で実施	76か所で実施	82か所で実施	こども部 こども育成課	◎
			実績	48か所で実施	57か所で実施	69か所で実施	75か所で実施	82か所で実施		
(9)	事業所内保育施設支援事業【再掲】	事業所内保育施設の保育従事者が、研修会において意見交換することにより、施設間のネットワーク構築を推進する。また、児童の運動機能向上のために屋内遊具等を設置することにより、保育環境の向上を図る。	計画	スキルアップ研修会の開催 屋内遊具の配布	スキルアップ研修会の開催 屋内遊具の配布	スキルアップ研修の開催 屋内遊具の配布	屋内遊具の配布	屋内遊具の配布	こども部 こども育成課	◎
			実績	研修会:0回 屋内遊具配布:17か所	研修会:1回 屋内遊具配布:17か所	屋内遊具配布:14か所	屋内遊具配布:23か所	屋内遊具配布:24か所		
施策の方向 5 認可外保育施設の運営等に対する助成				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1)	認可外保育施設絵本配布事業	認可外保育施設入所児童の保育環境充実のため、絵本を贈呈する。	計画	58施設	55施設	48施設	48施設	52施設	こども部 こども育成課	○
			実績	41施設	46施設	43施設	46施設	45施設		
(2)	新規参入事業者巡回支援事業	小規模保育事業等へ新規参入する事業者（認可外保育施設運営者等）に対する認可化に向けた相談及び助言を行う。	計画	巡回支援の実施	巡回支援の実施	巡回支援の実施	巡回支援の実施 8施設	巡回支援の実施 6施設	こども部 こども育成課	○
			実績	2施設で実施	10施設で実施	13施設で実施	8施設で実施	5施設で実施		
(3)	郡山市私立保育園運営費補助事業	認可外保育施設は、認可保育所を補完し、市民の保育ニーズに応える重要な役割を持つことから、入所児童の良好な保育環境を確保するため、郡山市私立保育園連絡協議会を通じて加盟施設の運営に係る経費に対し、助成する。	計画	26施設	26施設	18施設	18施設	16施設	こども部 こども育成課	◎
			実績	25施設	19施設	17施設	16施設	16施設		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 1 子育て支援								R01 評価		
基本施策 1 教育・保育事業の充実				事業量					担当課	
施策の方向 5 認可外保育施設の運営等に対する助成				27年度	28年度	29年度	30年度			元年度
(4)	郡山市私立保育園職員研修費補助事業	郡山市私立保育園連絡協議会が自主的に企画・運営する研修会の開催に要した経費に対し、助成する。	計画	実施	実施	実施	実施	実施	こども部 こども育成課	◎
			実績	2回実施分：300,000円補助	2回実施分：700,000円補助	3回実施分：400,000円補助	3回実施分：400,000円補助	3回実施分：400,000円補助		

施策領域 1 子育て支援								R01 評価		
基本施策 2 放課後児童対策の充実				事業量					担当課	
施策の方向 1 放課後児童クラブの整備・充実				27年度	28年度	29年度	30年度			元年度
(1)	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	放課後、就労等により保護者のいない児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供して児童の健全育成を推進する。また、国の子ども・子育て支援新制度へ対応しながら、放課後児童クラブの運営を推進する。	計画	放課後児童クラブの運営 33校区(38施設)	放課後児童クラブの運営 36校区(47施設)	放課後児童クラブの運営 36校区(49施設)	放課後児童クラブの運営 37校区(53施設)	放課後児童クラブの運営 38校区(57施設)	こども部 こども未来課	◎
			実績	放課後児童クラブの運営 放課後児童クラブの整備 ・新規3校、増設3校	放課後児童クラブの運営 放課後児童クラブの整備 ・移設1校、増設1校	放課後児童クラブの運営 放課後児童クラブの整備 ・新規1校、増設3校	放課後児童クラブの運営 放課後児童クラブの整備 ・新規1校、増設3校、 施設返却1校	放課後児童クラブの運営 放課後児童クラブの整備 ・新規2校、増設1校		
(2)	放課後児童対策事業	昼間、就労等により保護者が家庭にいない児童を対象に、放課後の生活の場を確保し、育成・指導を行う。	計画	入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	こども部 こども未来課	◎
			実績	放課後児童クラブ入会希望調査 実施校：58校 児童クラブの巡回・指導実施(月1～2回)	放課後児童クラブ入会希望調査 実施校：57校 児童クラブの巡回・指導実施(月1～2回)	放課後児童クラブ入会希望調査 実施校：57校 児童クラブの巡回・指導実施(月2～3回)	放課後児童クラブ入会希望調査 実施校：54校 児童クラブの巡回・指導実施(月2～3回)	放課後児童クラブ入会希望調査 実施校：53校 児童クラブの巡回・指導実施(月2～3回)		
(3)	放課後児童クラブ健全育成事業費補助事業	民設の放課後児童クラブに対し、その運営に要する経費に対し助成を行う。	計画	3か所	2か所	2か所	2か所	1か所	こども部 こども未来課	◎
			実績	補助団体数：3か所 補助金額：4,840千円	補助団体数：3か所 補助金額：3,640千円	補助団体数：2か所 補助金額：6,692千円	補助団体数：2か所 補助金額：6,692千円	補助団体数：1か所 補助金額：3,951千円		
(4)	放課後児童クラブ指導員研修会の開催	事業運営に係る重要な事項に関する研修を行い、指導員の資質向上を図るとともに、指導員同士の情報交換の場を設けることにより、放課後児童クラブの運営に関しての共通認識を深め、事業の充実及び円滑な運営を図る	計画	実施	実施	実施	実施	実施	こども部 こども未来課	◎
			実績	研修会2回開催 全体研修会参加者：154名 ブロック研修会参加者：7名	研修会1回開催 全体研修会参加者：188名	研修会1回開催 全体研修会参加者：227名	全体研修会2回開催 参加者：229人	全体研修会1回開催 参加者：243人		
施策の方向 2 地域子ども教室の運営				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	こども部 こども未来課	◎
(1)	地域子ども教室事業	地域の参画を得ながら、子どもたちに勉強・スポーツ・文化活動等の場を提供し、放課後の児童の安全で健やかな居場所づくりに取り組む。	計画	3か所運営	4か所運営	7か所運営	7か所運営	10か所運営		
			実績	3か所運営 整備：新設1校	3か所運営 整備：新設3校	7か所運営 整備：新設1校 閉所：1校	7か所運営 整備：新設3校	10か所運営		
施策の方向 3 児童センターの運営				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	こども部 こども未来課	◎
(1)	希望ヶ丘児童センター運営事業	希望ヶ丘児童センターにおいて、幼児及び児童に施設を開放するとともに、もちつき大会やパソコン教室など年間を通して各種の行事を開催する	計画	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施		
			実績	年間開放日：294日 実施行事数：218行事	年間開放日：291日 実施行事数：221行事	年間開放日：289日 実施行事数：214行事	年間開放日：290日 実施行事数：212行事	年間開放日：286日 実施行事数：99行事		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 1 子育て支援				事業量					担当課	R01 評価
基本施策 3 地域における子育ての支援				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
施策の方向 1 地域子育て支援センターの充実				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1)	地域子育て支援センター事業	地域子育て支援センターにおいて子育てに関する相談を受けることにより、子育ての不安感の軽減や、親子のふれあいや情報交換を図る。	計画	電話・面接による相談（随時）	電話・面接による相談（随時）	電話・面接による相談（随時）	電話・面接による相談（随時）	電話・面接による相談（随時）	こども部 こども支援課	◎
			実績	相談件数 東部:171件、西部:323件、南部:244件、北部:428件	相談件数 東部:344件、西部:367件、南部:462件、北部:303件	相談件数 東部:301件、西部:419件、南部:378件、北部:234件	相談件数 東部:287件、西部:428件、南部:615件、北部:252件	相談件数 東部:396件、西部:358件、南部:473件、北部:185件		
(2)	移動サロンの実施	地域子育て支援センターで実施している*育児サロンを市内の公共施設において開設し、親子の交流の場を提供する。 *乳幼児を持つ親同士の情報交換の場	計画	年16回実施	年16回実施予定	年16回実施予定	年16回実施予定	年16回実施予定	こども部 こども支援課	◎
			実績	年16回実施 参加者数:311人	年16回実施 参加者数:260人	年16回実施 参加者数:329人	年16回実施 参加者数:245人	年14回実施 参加者数:217人		
施策の方向 2 子育て支援団体等との連携				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1)	ひとまちづくり活動応援事業	本市のまちづくりを支える「市民力」や「地域力」を高め、協働のまちづくりを推進するため、市民活動団体が主体的に取り組む地域づくり活動等を支援する。	計画	活動支援・人材育成・顕彰事業の実施 ウェブサイトによる情報提供	活動支援・人材育成・まちかどギャラリー・顕彰事業の実施	活動支援・人材育成・まちかどギャラリー・顕彰事業の実施	活動支援事業・顕彰事業の実施	活動支援事業・顕彰事業の実施	市民部 市民・NPO活動推進課	○
			実績	活動支援補助団体数7団体、人材育成補助団体数2団体、まちかどギャラリー補助団体数1団体、顕彰数9団体	活動支援補助団体数10団体、まちかどギャラリー補助団体数1団体、顕彰数12団体	活動支援補助団体数9団体、人材育成補助団体数1団体、顕彰数15団体	活動支援補助団体数8団体、顕彰数16団体	活動支援補助団体数8団体、顕彰数10団体		
(2)	市民活動サポートセンター委託業務	市民活動団体の自立の促進や活発化を図るため、専門的な知識を有する民間団体に事業を委託し、市民が積極的に市民活動等に参加できる環境の整備や市民活動団体の活動を活性化させる。	計画	NPO相談業務、市民活動交流広場事業、こおりやまNPO連絡会議、市民活動サポートメール発信事業	市民活動相談業務、市民活動交流広場フェスタ、こおりやまNPO連絡会議、市民活動サポートメール発信事業	市民活動相談業務、サポートセンター運営会議、市民活動応援講座、市民活動交流サロン、市民活動交流フェスタ、市民活動サポートメール発信事業	市民活動相談業務、サポートセンター運営会議、市民活動応援講座、市民活動交流サロン、市民活動交流フェスタ、市民活動サポートメール発信事業	市民活動相談業務、サポートセンター運営会議、市民活動応援講座、市民活動交流サロン、市民活動交流フェスタ、市民活動サポートメール発信事業	市民部 市民・NPO活動推進課	○
			実績	NPO相談:148件、市民活動交流広場:1回、こおりやまNPO連絡会議:6回、市民活動サポートメール:年12回配信	市民活動相談:946件、市民活動交流フェスタ:1回、こおりやまNPO連絡会議:16回、市民活動サポートメール:年12回配信	市民活動相談:1611件、運営会議:2回、市民活動応援講座:7回、市民活動交流サロン:14回、市民活動交流フェスタ:1回、市民活動サポートメール:年12回配信	市民活動相談:1881件、運営会議:2回、市民活動応援講座:8回、市民活動交流サロン:3回、市民活動交流フェスタ:1回、市民活動サポートメール:年12回配信	市民活動相談:12,885件、運営会議:2回、市民活動応援講座:6回、市民活動交流サロン:3回、市民活動サポートメール:年12回配信		
(3)	郡山女子大学との連携による子育て支援	郡山女子大学と協定を結び、協働による郡山市こども総合支援センター「ニコニコこども館」の事業運営を行う。	計画	年間を通して実施	5月:ハンドベルコンサート 11月:ニコニコこども館まつり	11月:ニコニコこども館まつり 12月:ハンドベルコンサート	10月:ハンドベルコンサート 11月:ニコニコこども館まつり	11月:ニコニコこども館まつり 12月:ハンドベルコンサート	こども部 こども支援課	◎
			実績	9月:ハンドベルコンサート 11月:ニコニコこども館まつり	5月:ハンドベルコンサート 11月:ニコニコこども館まつり	11月:ニコニコこども館まつり 12月:ハンドベルコンサート	11月:ニコニコこども館まつり 12月:ハンドベルコンサート	11月:ニコニコこども館まつり 12月:ハンドベルコンサート		
(4)	子育てNPOとの協働による子育て支援	きめ細やかな子育て支援事業を実施するため、子育て支援に積極的なNPOの特性や専門性を有効活用する。	計画	ファミリーサポートセンター事業・一時的保育事業(ニコニコこども館内)・大型遊具巡回事業・わくわくつどいの広場・リズムとからだあそび	ファミリーサポートセンター事業・一時的保育事業(ニコニコこども館内)・大型遊具巡回事業・わくわくつどいの広場・リズムとからだあそび・移動サロン・子育て講座	ファミリーサポートセンター事業・一時的保育事業(ニコニコこども館内)・わくわくつどいの広場・リズムとからだあそび・移動サロン	ファミリーサポートセンター事業・一時的保育事業(ニコニコこども館内)・大型遊具巡回事業(完了)・わくわくつどいの広場・リズムとからだあそび・移動サロン・子育て講座	ファミリーサポートセンター事業・わくわくつどいの広場・リズムとからだあそび・移動サロン・子育て講座	こども部 こども支援課	◎
			実績	ファミリーサポートセンター事業・一時的保育事業(ニコニコこども館内)・大型遊具巡回事業・わくわくつどいの広場・リズムとからだあそび・移動サロン・子育て講座	ファミリーサポートセンター事業・一時的保育事業(ニコニコこども館内)・大型遊具巡回事業・わくわくつどいの広場・リズムとからだあそび・移動サロン・子育て講座	ファミリーサポートセンター事業・一時的保育事業(ニコニコこども館内)・わくわくつどいの広場・リズムとからだあそび・移動サロン・子育て講座	ファミリーサポートセンター事業・一時的保育事業(ニコニコこども館内)・わくわくつどいの広場・リズムとからだあそび・移動サロン・子育て講座	ファミリーサポートセンター事業・わくわくつどいの広場・リズムとからだあそび・移動サロン・子育て講座		
(5)	子育てボランティアの活用による子育て支援	地域での子育て支援の活性化を促進するため、郡山市こども総合支援センター「ニコニコこども館」を中心とした子育て支援センター事業において子育てボランティアを活用する。	計画	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	こども部 こども支援課	◎
			実績	活動回数:127回 延参加人数:293人	活動回数:130回 延参加人数:242人	活動回数:129回 延参加人数:183人	活動回数:130回 延参加人数:138人	活動回数:173回 延参加人数:179人		
施策の方向 3 子育てボランティア・サークルの育成・支援				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1)	子育てボランティアの育成・支援【こども総合支援センター「ニコニコこども館」事業へ統合】	子育て支援センター事業等で活動したい市民を子育てボランティアとして育成・支援することにより、登録者の拡大を図る。	計画	随時実施	随時実施	10回開催予定	統合		こども部 こども支援課	-
			実績	子育てボランティア養成講座を実施	開催回数:10回 延参加人数:90人	開催回数:10回 延参加人数:86人				

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 1 子育て支援							R01 評価				
基本施策 3 地域における子育ての支援			事業量					担当課			
施策の方向 3 子育てボランティア・サークルの育成・支援			27年度	28年度	29年度	30年度			元年度		
(2)	子育てサークル代表者会議の開催	各地域において子どもや子育てに関する様々な活動を行っている子育てサークルの代表者が会議において活動報告や情報交換等を行い、子育ての知識・技術を高める。	計画	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	子ども部 子ども支援課	◎	
			実績	2回開催	2回開催	2回開催	2回開催	2回開催			
(3)	郡山市市民公益活動総合補償保険制度事業	「市民が主役の協働のまちづくり」を一層推進するため、市民が積極的にボランティア等公益活動に参加できるよう、市民公益活動総合補償保険制度「郡山市まちづくり活動保険」を運営する。	計画	まちづくり活動保険に関する周知事故発生時の受付 保険金請求票事故証明書及び保険会社への請求	まちづくり活動保険に関する周知事故発生時の受付 保険金請求票事故証明書及び保険会社への請求	まちづくり活動保険に関する周知事故発生時の受付 保険金請求票事故証明書及び保険会社への請求	まちづくり活動保険に関する周知事故発生時の受付 保険金請求票事故証明書及び保険会社への請求	まちづくり活動保険に関する周知事故発生時の受付 保険金請求票事故証明書及び保険会社への請求	市民部 市民・NPO活動推進課	◎	
			実績	保険請求:48件	保険請求:30件	保険請求:35件	保険請求:18件	保険請求:25件			
施策の方向 4 幼稚園・保育所等における地域活動への参加促進			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	R01 評価			
(1)	保育所地域ふれあい事業	地域に開かれた保育所運営を図るため、保育所のイベント等を地域の方々に開放する。	計画	随時	132回実施	185回実施	225回実施		198回実施	子ども部 子ども育成課	◎
			実績	137回実施	137回実施	204回実施	226回実施		196回実施		

施策領域 1 子育て支援							R01 評価				
基本施策 4 子育て家庭への経済的支援			事業量					担当課			
施策の方向 1 子育てを支援する手当の充実			27年度	28年度	29年度	30年度			元年度		
(1)	児童手当	次世代の社会を担う子ども1人ひとりの育ちを社会全体で応援するため、中学校修了前までの児童を養育している家庭に手当を支給する。	計画	年間を通して実施 受給者数:25,000人 対象児童:42,000人	年間を通して実施 受給者数:25,000人 対象児童:41,500人	年間を通して実施 受給者数:25,000人 対象児童:41,000人	年間を通して実施 受給者数:24,500人 対象児童:40,500人	年間を通して実施 受給者数:24,500人 対象児童:39,500人	子ども部 子ども支援課	◎	
			実績	年間を通して実施 受給者数:25,212人 対象児童:41,311人	年間を通して実施 受給者数:24,907人 対象児童:40,784人	年間を通して実施 受給者数:24,425人 対象児童:40,049人	年間を通して実施 受給者数:24,080人 対象児童:39,417人	年間を通して実施 受給者数:23,615人 対象児童:38,611人			
(2)	出産育児一時金	国民健康保険被保険者が出産したとき、出産児1人につき420,000円支給する。	計画	年間を通して実施 当初予算支給件数:405件	年間を通して実施 当初予算支給件数:365件	年間を通して実施 当初予算支給件数:343件	年間を通して実施 当初予算支給件数:284件	年間を通して実施 当初予算支給件数:256件	市民部 国民健康保険課	◎	
			実績	直接支払制度利用:301件 事後申請・差額申請:51件	直接支払制度利用分:303件 事後申請・差額申請分:75件	直接支払制度利用分:241件 事後申請・差額申請分:66件	直接支払制度利用分:224件 事後申請・差額申請分:52件	直接支払制度利用分:200件 事後申請・差額申請分:47件			
(3)	子育て応援パスポート事業	企業と行政が協力して子育てしやすい環境を整備することにより、子育て世帯を社会全体で支える気運を盛り上げる。	計画	カード・チラシ等の配布及び管理	カード・チラシ等の配布及び管理	カード・チラシ等の配布及び管理	カード・チラシ等の配布及び管理	カード・チラシ等の配布及び管理	子ども部 子ども支援課	◎	
			実績	交付枚数:4,929枚	交付枚数:3,213枚	交付枚数:2,865枚	交付枚数:3,139枚	交付枚数:2,843枚			
施策の方向 2 こども医療費助成制度の実施			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	R01 評価			
(1)	こども医療費助成事業	子どもの健康増進を図るため、18歳まで医療費の助成を行い、保護者の負担軽減を図る。	計画	年間を通して実施 受給者数:55,000人 助成件数:650,000件	年間を通して実施 受給者数:55,000人 助成件数:650,000件	年間を通して実施 受給者数:55,000人 助成件数:650,000件	年間を通して実施 受給者数:54,000人 助成件数:660,000件		年間を通して実施 受給者数:53,000人 助成件数:690,000件	子ども部 子ども支援課	◎
			実績	年間を通して実施 受給者数:54,618人 助成件数:629,865件	年間を通して実施 受給者数:53,918人 助成件数:657,818件	年間を通して実施 受給者数:53,206人 助成件数:663,333件	年間を通して実施 受給者数:52,451人 助成件数:677,774件		年間を通して実施 受給者数:51,652人 助成件数:665,670件		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 1 子育て支援										R01 評価
基本施策 4 子育て家庭への経済的支援				事業量					担当課	
施策の方向 3 幼稚園・保育所等の保育料の負担軽減				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1)	郡山市私立保育園運営費補助事業【再掲】	認可外保育施設は、認可保育所を補完し、市民の保育ニーズに応える重要な役割を持つことから、入所児童の良好な保育環境を確保するため、郡山市私立保育園連絡協議会を通じて加盟施設の運営に係る経費に対し、助成する。	計画	26施設	26施設	18施設	18施設	16施設	こども部 こども育成課	◎
			実績	25施設	19施設	17施設	16施設	16施設		
(2)	郡山市私立幼稚園運営費補助事業	私立幼稚園33園に運営費を補助し、教育環境の向上や保護者の負担軽減、幼児教育の振興を図る。	計画	33園	33園	32園	32園	31園	こども部 こども育成課	◎
			実績	33園	33園	32園	32園	31園		
(3)	郡山市私立幼稚園就園奨励費補助事業	幼児教育の振興と保護者の負担軽減を目的に、保護者に対し入園料・保育料の一部を補助する。	計画	約4,400人	約4,400人	約4,300人	約4,350人	約4,220人	こども部 こども育成課	◎
			実績	4,427人	4,480人	4,337人	4,351人	4,029人		
(4)	幼稚園・保育所等保育料無料化・軽減等事業	少子化対策や育児条件の改善につなげるため、私立幼稚園、認可保育所及び認可外保育施設に通う児童に係る保育料の無料化・軽減等を実施する。	計画	約1,900人	約2,700人	約3,300人	約3,300人	約3,740人	こども部 こども育成課	
			実績	1,873人	2,630人	2,941人	2,923人	(算定中)		
(5)	多子世帯保育料軽減事業（認可外保育施設）	多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、18歳未満の児童が3人以上いる世帯の第3子以降で認可外保育施設を利用する3歳未満児にかかる保育料の一部を助成する。	計画	89件	第2子:220件 第3子:83件	第2子:212件 第3子:87件	第2子:210件 第3子:85件	第2子:240件 第3子:91件	こども部 こども育成課	○
			実績	98件	第2子:276件 第3子:97件	第2子:234件 第3子:91件	第2子:221件 第3子:85件	第2子:221件 第3子:76件		
(6)	認可保育所保育料軽減事業	認可保育所入所児童が3歳未満で、その世帯において18歳未満の第3子以降の場合に保育料を減額する。	計画	第3子以降で3歳未満児の保育料軽減	第3子以降で3歳未満児の保育料軽減	約300人	約300人	約300人	こども部 こども育成課	
			実績	221人	193人	231人	247人	(算定中)		

施策領域 2 健康										R01 評価
基本施策 1 安心・安全な妊娠・出産への支援				事業量					担当課	
施策の方向 1 妊産婦に対する相談や指導の充実				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1)	妊産婦健康診査事業	妊産婦の健康保持増進を図るため、妊産婦健康診査及び新生児聴覚検査の助成を行い、より安全に妊娠・出産に取り組める環境を整備する。	計画	受診見込:36,200人	受診見込:36,010人	妊産婦健康診査見込:36,710人 新生児聴覚検査受診見込(初回検査):2,800人	妊産婦健康診査見込:36,080人 新生児聴覚検査受診見込(初回検査):2,800人	妊産婦健康診査見込:33,953人 新生児聴覚検査受診見込(初回検査):2,620人	こども部 こども支援課	○
			実績	受診者数:35,827人	受信者数:35,373人	妊産婦健康診査者数:延33,819人 新生児聴覚検査受検児数:延2,427人	妊産婦健康診査者数:延33,006人 新生児聴覚検査受検児数:延2,480人	妊産婦健康診査者数:延30,645人 新生児聴覚検査受検児数:延2,341人		
(2)	母子保健推進活動事業（マタニティストラップ配布事業）	母子健康手帳交付時に、ストラップを配布することにより、妊娠前から安全かつ快適に過ごすことができるとともに、子供の健やかな発育、発達を促し育児不安の軽減を図り、育児力を身につけていけるよう支援する。	計画	3,300個配布予	3,100個配布予定	3,100個配布予定	3,100個配布予定	2,600個配布予定	こども部 こども支援課	○
			実績	2,769個配布	2,773個配布	2,571個配布	2,467個配布	2,322個配布		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 2 健康								R01 評価		
基本施策 1 安心・安全な妊娠・出産への支援			事業量						担当課	
施策の方向 1 妊産婦に対する相談や指導の充実			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(3)	母子保健推進活動事業 (妊婦さんのデンタルケア)	妊婦自身が自分の健康状態や歯科疾患の予防法を知り、自己管理ができるとともに、自分の歯をとおして生まれてくる子どもの予防を図る。	計画	12回	12回	12回	12回	12回	こども部 こども支援課	○
			実績	12回、111人	12回 156人	12回 158人	12回 133人	10回：110人		
(4)	母子保健推進活動事業 (妊産婦訪問指導)	妊産婦の健康状態を観察・把握し、妊娠・産褥中の生活上の注意点等について保健指導を行い、安心して出産、育児ができるよう支援する。	計画	訪問件数:200件	訪問人数:300人	訪問人数:350人	訪問人数:360人	訪問人数:466人	こども部 こども支援課	○
			実績	妊産婦及び未熟児等:200人	妊産婦及び未熟児等:154人	訪問:194人 電話・来所相談等:116人	訪問:301人 電話・来所相談等:116人	訪問:357人 電話・来所相談等:172人		
(5)	母子保健推進活動事業 (母親教室)	妊婦の保健についての認識を高め、健全な母体の維持並びに健全な子どもの誕生と育成を支援する。	計画	(講義)年6コース12回 (実習)年8回	(講義)年6コース12回 (実習)年8回	(講義)年6コース12回 (実習)年8回	(講義)年6コース12回 (実習)年8回	(講義)年6コース12回 (実習)年8回	こども部 こども支援課	○
			実績	講義:母親教室 6回開催、参加者441人 実習:沐浴教室 8回開催、参加者262人	講義:母親教室 6回開催、参加者520人 実習:沐浴教室 8回開催、参加者297人	講義:母親教室 6コース12回開催、参加者533人 実習:沐浴教室 8回開催、参加者368人	講義:母親教室 6コース12回開催、参加者561人 実習:沐浴教室 8回開催、参加者380人	講義:母親教室 5コース10回開催、参加者395人 実習:沐浴教室 6回開催、参加者298人		
(6)	子育て世代包括支援センター事業	妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目ない支援の強化を図るため、妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進に関する包括的な支援を行う。	計画	—	—	通年を通して実施	通年を通して実施	通年を通して実施	こども部 こども支援課	○
			実績	—	—	対応件数:4,805件	対応件数:6,179件	対応件数:6,323件		
施策の方向 2 不妊の悩みへの支援			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	母子医療対策事業 (不妊相談)	不妊について、身体的・精神的・社会的に悩みを抱えている夫婦に対し、不妊の悩みが解消できるよう支援する。	計画	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	こども部 こども支援課	○
			実績	相談件数:199件	相談件数:200件	相談件数:126件(新規件数)	相談件数:102件(新規件数)	一般相談件数:49件 不妊専門相談センター 専門相談件数:11件		
(2)	母子医療対策事業 (特定不妊治療費助成事業)	特定不妊治療(体外受精・顕微授精)を行っている夫婦に医療費の一部を助成する。	計画	申請人数:352人	申請人数:357人	申請人数:389人	申請人数:350人	申請人数:385人	こども部 こども支援課	△
			実績	申請人数:321人	申請人数:346人	申請人数:333人	申請人数:298人	申請人数:194人		
施策領域 2 健康								R01 評価		
基本施策 2 子どもや母親の健康の確保			事業量						担当課	
施策の方向 1 子どもの健康の確保			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	屋内遊び場確保事業 (遊び場開放) 【4か所の屋内運動施設等(子どもの遊び場)の完成に伴い平成28年度で事業終了】	子どもたちが思い切り活動できる環境を整備するため、小学校の体育館等を子どもたちに開放し、体力・運動能力の向上と肥満の解消に努める。	計画	3か所で開放	3か所で開放	完了			こども部 こども未来課	-
			実績	3か所で開放 年間開放日:41日 年間利用数:681人	3か所で開放 年間開放日:47日 年間利用数:344人					

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 2 健康		事業量					担当課	R01 評価	
基本施策 2 子どもや母親の健康の確保		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
施策の方向 1 子どもの健康の確保									
(2)	屋内遊び場確保事業 (のびのびちびっこ広場) 【4か所の屋内運動施設等（子どもの遊び場）の完成に伴い平成28年度で事業終了】	子どもたちが思い切り活動できる環境を整備するため、夏出小学校分校跡地の体育館を子どもたちに開放し、体力・運動能力の向上と肥満の解消に努める。	計画	夏出小学校分校跡地体育館を開放	完了			こども部 こども未来課	-
			実績	年間開放日:348日 年間利用数:11,047人	年間開放日:344日 年間利用数:11,216人				
(3)	屋内運動施設等整備事業 【4か所竣工したことから平成28年度で事業終了】	未来を担う子どもたちの健康増進と健やかな心の発達を図るため、地域のバランスを考慮し、より安全に安心して遊ぶことができる屋内及び屋外の運動施設を整備する。	計画	4か所着工予定	完了			こども部 こども未来課	-
			実績	4か所着工	4か所竣工				
(4)	こども総合支援センター「ニコニコこども館」事業	「ニコニコこども館」において、子育ての相談、親子の触れ合い、親同士子ども同士の交流を図るため、毎日、様々な事業を実施し、総合的な子育て支援を図る。 ※移動サロン・リズムとからだのあそび・わくわくつどいの広場・子育て講座等	計画	子育てサロン他各種事業を実施	子育てサロン他各種事業を実施	子育てサロン他各種事業を実施	子育てサロン他各種事業を実施	こども部 こども支援課	◎
			実績	子育てサロン:60,609人、移動サロン:311人、わくわく:610人、子育て講座:114人、リズムとからだ:1,609人	子育てサロン:58,648人、移動サロン:260人、わくわく:634人、子育て講座:179人、リズムとからだ:1,341人	子育てサロン63,127人、移動サロン:329人、わくわく:578人、子育て講座:80人、リズムとからだ:1,473人	子育てサロン66,969人、移動サロン:274人、わくわく:675人、子育て講座:222人、リズムとからだ:1,360人		
(5)	保育元気アップ支援事業	市内の未就学児を市外に連れて行き、自然と触れ合う体験活動を通し、自然に親しむとともに、思い切り体を動かして遊ぶことで、体力の維持増進を図る。	計画	対象施設83か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:14か所、幼稚園:33か所、認可外保育施設:11か所	対象施設88か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:18か所、幼稚園:33か所、認可外保育施設:12か所	対象施設91か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:23か所、幼稚園:33か所、認可外保育施設:10か所	対象施設97か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:28か所、幼稚園:33か所、認可外保育施設:11か所	こども部 こども育成課	◎
			実績	対象施設77か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:14か所、幼稚園:25か所、認可外保育施設:13か所	対象施設78か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:17か所、幼稚園:25か所、認可外保育施設:11か所	対象施設85か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:25か所、幼稚園:25か所、認可外保育施設:10か所	対象施設87か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:25か所、幼稚園:26か所、認可外保育施設:11か所		
(6)	元気な遊びのひろば事業	本市の未来を担う子どもの健康増進と健やかな発達に寄与するため、屋内遊び場を運営するとともに、公共施設で屋内運動遊びを行う大型遊具の巡回を実施する。	計画	1子育て支援事業 2食育啓発事業 3フレイリーダー等育成・研修事業	1子育て支援事業 2食育啓発事業 3フレイリーダー等育成・研修事業	1子育て支援事業 2食育啓発事業 3フレイリーダー等育成・研修事業	1子育て支援事業 2食育啓発事業 3フレイリーダー等育成・研修事業	こども部 こども支援課	○
			実績	1アクティブ:304,807人 2キッチン:12,353人 3育成研修:40回	1アクティブ:308,119人 2キッチン:12,629人 3育成研修:12回	1アクティブ:296,072人 2キッチン:12,329人 3育成研修:12回	1アクティブ:301,800人 2キッチン:12,863人 3育成研修:12回		
(7)	学校保健指導・学校体育指導事業	児童生徒の体力・運動技術向上及び健康に関する指導の充実を図るため、市独自の学校保健・体育指導用の資料を作成します。	計画	市独自の学校保健・体育指導用の資料の作成	市独自の学校保健・体育指導用の資料の作成	市独自の学校保健・体育指導用の資料の作成	市独自の学校保健・体育指導用の資料の作成	学校教育部 学校管理課	◎
			実績	資料作成委員会を5回開催し資料を作成	資料作成委員会を5回開催し資料を作成	資料作成委員会を5回開催し資料を作成	資料作成委員会を4回開催し資料を作成		
(8)	母子保健推進活動事業 (こんにちは赤ちゃん訪問事業)	生後4か月までの乳児及び保護者の育児に関する不安や悩みを聴き、子育て支援に関する情報提供を行う。	計画	訪問人数:2,340人	訪問人数:2,445人	訪問人数:2,468人	訪問人数:2,452人	こども部 こども支援課	○
			実績	訪問人数:2,345人	訪問人数:2,335人	訪問人数:2,378人	訪問人数:2,277人		
(9)	母子保健推進活動事業 (助産師訪問指導)	新生児から生後4か月までの乳児を対象に希望者に健康状態の観察、把握をし、栄養や育児方法、疾病予防等の指導を行う。	計画	訪問人数:556人	訪問人数:703人	訪問人数:718人	訪問人数:583人	こども部 こども支援課	○
			実績	訪問人数:562人	訪問人数:548人	訪問人数:551人	訪問人数:435人		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 2 健康								R01 評価		
基本施策 2 子どもや母親の健康の確保				事業量			担当課			
施策の方向 1 子どもの健康の確保				27年度	28年度	29年度			30年度	元年度
基本施策 2	(10)	母子保健推進活動事業 (未熟児訪問指導及び相談)	未熟児及びその保護者を対象に、子どもの健やかな成長と保護者の育児に関する不安を軽減するため、子どもの発育・発達状態を確認し、栄養や育児方法、疾病予防等の必要な保健指導を行う。	計画 未熟児及び妊産婦:200人 実績 妊産婦及び未熟児等:200人	未熟児及び妊産婦:300人 妊産婦及び未熟児等:154人	未熟児及び妊産婦:400人 訪問:194人 電話・来所相談等:116人	未熟児及び妊産婦:360人 訪問:301人 電話・来所相談等:116人	未熟児及び妊産婦:466人 訪問:357人 電話・来所相談等:172人	子ども部 こども支援課	○
	(11)	幼児歯科保健事業	1歳6か月児健診や3歳児健診において、むし歯有病者率が高い現状にあるため、幼児期のむし歯予防に向けた歯科指導及び啓発活動を行う。	計画 1育児教室での歯科保健指導 2保育職員への歯科保健指導 3イベントでの啓発活動 4保育所等での歯磨き教室 実績 計画どおり実施	1育児教室での歯科保健指導 2保育職員への歯科保健指導 3イベントでの啓発活動 4保育所等での歯磨き教室 計画どおり実施	1育児教室での歯科保健指導 2保育職員への歯科保健指導 3イベントでの啓発活動 4保育所等での歯磨き教室 計画どおり実施	1育児教室での歯科保健指導 2保育職員への歯科保健指導 3イベントでの啓発活動 4保育所等での歯磨き教室 計画どおり実施	1育児教室での歯科保健指導 2イベントでの啓発活動 3保育所等での歯磨き教室 計画どおり実施	子ども部 こども支援課	○
	(12)	乳幼児健康診査事業	乳幼児の健康の保持増進を図るため、健康診査や保健指導を行う。また、幼児に対する虫歯予防教室を開催する。	計画 受診者数:11,140人 実績 受診者数:10,369人	受診者数:11,373人 受診者数:10,436人	受診者数:10,852人 受診者数:10,265人	受診者数:10,690人 受診者数:10,056人	受診者数:10,700人 受診者数:9,350人	子ども部 こども支援課	○
	(13)	予防接種事業	感染症の発生及びまん延を予防するため、各種の予防接種を行う。	計画 年間を通して実施 実績 個別接種:年間を通して各医療機関で実施	年間を通して実施 個別接種:年間を通して各医療機関で実施	年間を通して実施 個別接種:年間を通して各医療機関で実施	年間を通して実施 個別接種:年間を通して各医療機関で実施	年間を通して実施 個別接種:年間を通して各医療機関で実施	保健福祉部 保健所 地域保健課	◎
	(14)	小・中学校シックハウス検査	学校環境衛生の基準の一部改正に伴い、平成16年度から空気環境精密（シックハウス）検査を実施する。	計画 検査対象校 ・小学校5校(17箇所) ・中学校5校(17箇所) 実績 ・小学校4校(16箇所) ・中学校2校(6箇所) 検査対象の見直しによる	検査対象校 ・小学校2校(6箇所) ・中学校1校(3箇所)	検査対象校 ・小学校2校(6箇所) ・中学校1校(3箇所)	検査対象校 ・小学校2校(6箇所) ・中学校1校(3箇所)	検査対象校 ・中学校1校(3箇所) 検査対象校 0校	検査対象校 ・小学校1校(2箇所)	学校教育部 学校管理課
施策の方向 2 東日本大震災及び原子力災害からの子どもと保護者のケア				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
基本施策 2	(1)	郡山市震災後子どものケアプロジェクト	子どもの明るく健やかな成長を促す環境整備を図るため、郡山市震災後子どものケアプロジェクトチームにおいて、子どもや保護者等に対するメンタルヘルスケアに関する相談会や、遊びと運動の実技に関する講演会や研修会等を開催する。	計画 プロジェクトチーム会議、心のケア相談会、読み聞かせ事業、運動実技講演会及び研修会を行う 実績 会議:4回、相談会:12回、読み聞かせ:96回、運動実技:12回	プロジェクトチーム会議、心のケア相談会、読み聞かせ事業、運動実技講演会及び研修会を行う 会議:2回、相談会:3種類合計29回、読み聞かせ:96回、運動実技:10回	プロジェクトチーム会議、心のケア相談会、読み聞かせ事業、運動実技講演会及び研修会を行う 会議:1回、相談会:3種類合計29回、読み聞かせ:96回、運動実技:10回	プロジェクトチーム会議、心のケア相談会、読み聞かせ事業、運動実技講演会及び研修会を行う 会議:0回、相談会:3種類合計27回、読み聞かせ:96回、運動実技:10回	心のケア相談会、読み聞かせ事業、運動実技講演会及び研修会を行う 相談会:3種類合計28回、読み聞かせ:96回、運動実技:8回	子ども部 こども未来課 こども支援課	◎
	(2)	小中学生の体力向上推進事業	東京電力福島第一原子力発電所事故後の児童生徒の体力・運動能力等を継続的に把握し、学校の教育活動全体を通じて、児童・生徒一人ひとりの体力向上を図る。	計画 体力・運動能力調査の実施、民間運動施設の指導者派遣、体力向上用運動用具の学校への配付 実績 体力・運動能力調査の実施、民間運動施設の指導者派遣(ダンス・水泳:10校)、小中全86校に投てき用ボール配付	体力・運動能力調査の実施、民間運動施設の指導者派遣、体力向上用運動用具の学校への配付 体力・運動能力調査の実施、民間運動施設の指導者派遣(ダンス・水泳:10校)、小中全86校に投てき用ボール配付	体力・運動能力調査の実施、民間運動施設の指導者派遣、体力向上用運動用具の学校への配付 体力・運動能力調査の実施、民間運動施設の指導者派遣(ダンス・水泳:20校)、小中全86校に投てき用ボール配付	体力・運動能力調査の実施、民間運動施設の指導者派遣、体力向上用運動用具の学校への配付 体力・運動能力調査の実施、民間運動施設の指導者派遣(ダンス・水泳:18校)、小中全86校に投てき用ボール、ミニハードル配付	体力・運動能力調査の実施、民間運動施設の指導者派遣、体力向上用運動用具の学校への配付 体力・運動能力調査の実施、民間運動施設の指導者派遣(ダンス・水泳:18校)、小中全86校に投てき用ボール、ミニハードル配付	学校教育部 学校管理課	◎
	(3)	放射線教育サポート事業	放射線教育を推進するため、授業に活用できる指導資料の作成を行うとともに、児童生徒、教職員、保護者を対象とした放射線セミナーを関係機関と連携し、各学校の希望により実施します。	計画 希望校への教材の貸し出しと放射線セミナーの実施 実績 放射線セミナー実施、11回、1,476人	放射線セミナーの実施 放射線セミナー実施、9校11回、1,842人	放射線セミナーの実施 放射線セミナー実施、10校12回、1,779人	放射線セミナーの実施 放射線セミナー実施、13校19回、1,706人	放射線セミナーの実施 放射線セミナー実施、12校13回、1,451人	学校教育部 教育研修センター	○

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 2 健康		事業量					担当課	R01 評価	
基本施策 2 子どもや母親の健康の確保		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
施策の方向 2 東日本大震災及び原子力災害からの子どもと保護者のケア									
(4)	幼児肥満予防対策事業	東日本大震災による原発事故に伴い肥満傾向にある幼児が増加していることから、幼児期の肥満を予防するため、健診等の機会を通じて正しい食習慣についての知識の普及啓発を図る。	計画 1幼児健診や教室での普及啓発 2保育職員への研修会 3イベントでの栄養相談の実施 実績 健診での個別相談指導:728人、保育所所長会議での講話:44人、ニコニコ子ども館まつりでの栄養相談:4人	1幼児健診や教室での普及啓発 2栄養分析ソフトを活用した使用した栄養指導 実績 健診での個別相談指導:427人、ニコニコ子ども館まつりでの栄養相談:2人	1幼児健診や教室での普及啓発 2栄養分析ソフトを活用した使用した栄養指導 実績 健診での個別相談指導:485人、ニコニコ子ども館まつりでの栄養相談:0人	1幼児健診や教室での普及啓発 2栄養分析ソフトを活用した使用した栄養指導 実績 健診での個別相談指導:567人、ニコニコ子ども館まつりでの栄養相談:0人	1幼児健診や教室での普及啓発 2栄養分析ソフトを活用した使用した栄養指導 実績 1.健診での個別相談指導:487人 2.栄養分析ソフトを活用した使用した栄養指導:69人配布し5人結果送付	子ども部 子ども支援課	○
(5)	内部被ばく検査事業	内部被ばく検査を実施するため、ホールボディカウンターを活用し、市民の健康管理に努める。	計画 受検予定者数:26,000人 実績 受検者数:17,792人 内訳 市:16,557人 県:1,235人	受検予定者数:21,000人 受検者数:14,702人 内訳 市:13,161人 県:1,541人	受検予定者数:10,000人 受検者数:7,255人 内訳 市:7,039人 県: 216人	受検予定者数:7,000人 受検者数:6,049人 内訳 市:5,805人 県: 244人	受検予定者数:6,000人 受検者数:4,318人 内訳 市:4,031人 県: 287人	保健福祉部 保健所放射線 健康管理課	○
(6)	通学路放射線量マップ作成事業	通学路放射線量マップの作成・公開により、児童・生徒や保護者の不安解消に努める。	計画 放射線量マップの更新 情報の発信 実績 通学路放射線マップの作成・更新	放射線量マップの更新 情報の発信 通学路放射線マップの作成・更新	放射線量マップの更新 情報の発信 通学路放射線マップの作成・更新	放射線量マップの更新 通学路放射線マップの作成・更新	放射線量マップの更新 通学路放射線マップの作成・更新	学校教育部 学校管理課	◎
(7)	個人積算線量測定事業	未就学児童、小中学生等が受ける放射線量を測定し、健康管理や外部被ばく線量の管理に役立てる。	計画 未就学児童:8,500人、妊婦:100人、小中学生:6,800人 実績 未就学児童:7,069人、妊婦:49人、小中学生:4,212人	未就学児童:8,000人、妊婦:100人、小中学生:5,800人 未就学児童:5,932人、小中学生:3,575人	未就学児童:8,000人、小中学生:約4,800人 未就学児童:5,268人、小中学生:4,083人	未就学児童:8,000人、小中学生:4,700人 未就学児童:3,410人、小中学生:3,526人	未就学児童:4,000人、小中学生:4,000人 未就学児童:1,187人、小中学生:3,281人	子ども部 子ども未来課 子ども支援課 子ども育成課 学校教育部 学校管理課	△
(8)	保育所等給食放射性物質測定事業	放射性物質測定器を導入した認可外保育施設などを含む保育所等52施設において、調理済み給食及び食材の放射性物質検査を実施することにより、児童の内部被ばく防止や保護者等の不安解消に努める。	計画 公立:25か所、民間認可:14か所、認可外:13か所 実績 公立:25か所、民間認可:14か所、認可外:11か所	公立:25か所、民間認可:16か所、小規模保育:3か所、認可外:8か所 公立:25か所、民間認可:18か所、小規模保育:5か所、認可外:8か所	公立:25か所、民間認可:19か所、小規模保育:11か所、こども園:2か所、認可外:6か所 公立:25か所、民間認可:19か所、小規模保育:11か所、こども園:2か所、認可外:6か所	公立:25か所、民間認可:21か所、小規模保育:14か所、こども園:2か所、認可外:5か所 公立:25か所、民間認可:21か所、小規模保育:14か所、こども園:2か所、認可外:5か所	公立:25か所、民間認可:25か所、小規模保育:15か所、こども園:3か所 公立:25か所、民間認可:25か所、小規模保育:15か所、こども園:3か所	子ども部 子ども育成課	◎
(9)	学校給食放射性物質測定事業	給食センター及び自校給食校全てに放射線測定器を導入し、学校給食の放射性物質検査を行うことにより、児童・生徒の内部被ばく防止や保護者の不安解消に努める。	計画 全ての調理場で給食前に測定を実施 実績 食材検査:56,235検体、給食まるごと1食検査:12,246検体	全ての調理場で給食前に測定を実施 食材検査:44,013検体、給食まるごと1食検査:12,042検体	全ての調理場で給食前に測定を実施 食材検査:42,897 検体、給食まるごと1食検査:11,994検体	全ての調理場で給食前に測定を実施 食材検査:39,428 検体、給食まるごと1食検査:11,101検体	全ての調理場で給食前に測定を実施 食材検査:37,831検体、給食まるごと1食検査:10,144検体	学校教育部 学校管理課	◎
(10)	社会教育施設除染事業【スポーツ施設の除染完了のため事業終了】	除染計画に基づき、体育施設における放射線量の低減化を図るため、除染作業を進める。	計画 西部第二体育館、西部スポーツ広場(H26年度繰越分) 実績 西部第二体育館、西部スポーツ広場(H26年度繰越分)	完了				文化スポーツ部 スポーツ振興課	-
(11)	屋内水泳場整備事業【施設竣工のため、平成29年度で事業終了】	子どもたちをはじめ、多くの市民の体力向上と健康増進を図るため、より安全に、安心して運動に取り組むことができる屋内水泳場を整備する。	計画 本体工事等 実績 実施設計に基づき、本体工事に着工	本体工事	屋内水泳場オープン	完了		文化スポーツ部 スポーツ振興課	-

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 2 健康		事業量					担当課	R01 評価		
基本施策 2 子どもや母親の健康の確保		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度				
施策の方向 2 東日本大震災及び原子力災害からの子どもと保護者のケア										
(12)	元気な遊びのひろば事業 【再掲】	本市の未来を担う子どもの健康増進と健やかな発達に寄与するため、屋内遊び場を運営するとともに、公共施設で屋内運動遊びを行う大型遊具の巡回を実施する。	計画	1子育て支援事業 2良育啓発事業 3フレイリーダー等育成・研修事業	1子育て支援事業 2良育啓発事業 3フレイリーダー等育成・研修事業	1子育て支援事業 2良育啓発事業 3フレイリーダー等育成・研修事業	1子育て支援事業 2良育啓発事業 3フレイリーダー等育成・研修事業	1子育て支援事業 2良育啓発事業 3フレイリーダー等育成・研修事業	子ども部 子ども支援課	○
			実績	1アクティブ:304,807人 2キッチン:12,353人 3育成研修:40回	1アクティブ:308,119人 2キッチン:12,629人 3育成研修:12回	1アクティブ:296,072人 2キッチン:12,329人 3育成研修:12回	1アクティブ:301,800人 2キッチン:12,863人 3育成研修:12回	1アクティブ:267,085人 2キッチン:11,586人 3育成研修:12回		
(13)	屋内遊び場確保事業 (遊び場開放) 【再掲】 【4か所の屋内運動施設等（子どもの遊び場）の完成に伴い平成28年度で事業終了】	子どもたちが思い切り活動できる環境を整備するため、小学校の体育館等を子どもたちに開放し、体力・運動能力の向上と肥満の解消に努める。	計画	3か所で開放	3か所で開放	完了			子ども部 子ども未来課	-
			実績	3か所で開放 年間開放日:41日 年間利用人数:681人	3か所で開放 年間開放日:47日 年間利用人数:344人					
(14)	屋内遊び場確保事業 (のびのびちびっこ広場) 【再掲】 【4か所の屋内運動施設等（子どもの遊び場）の完成に伴い平成28年度で事業終了】	子どもたちが思い切り活動できる環境を整備するため、夏出小学校分校跡地の体育館を子どもたちに開放し、体力・運動能力の向上と肥満の解消に努める。	計画	夏出小学校分校跡地 体育館を開放	夏出小学校分校跡地 体育館を開放	完了			子ども部 子ども未来課	-
			実績	年間開放日:348日 年間利用人数:11,047人	年間開放日:344日 年間利用人数:11,216人					
(15)	保育元気アップ支援事業 【再掲】	市内の未就学児を市外に連れて行き、自然と触れ合う体験活動を通し、自然に親しむとともに、思い切り体を動かして遊ぶことで、体力の維持増進を図る。	計画	対象施設83か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:14か所、幼稚園:33か所、認可外保育施設:11か所	対象施設88か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:18か所、幼稚園:33か所、認可外保育施設:12か所	対象施設91か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:23か所、幼稚園:33か所、認可外保育施設:10か所	対象施設97か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:28か所、幼稚園:33か所、認可外保育施設:11か所	対象施設101か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:37か所、幼稚園:26か所、認可外保育施設:13か所	子ども部 子ども育成課	◎
			実績	対象施設77か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:14か所、幼稚園:25か所、認可外保育施設:13か所	対象施設78か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:17か所、幼稚園:25か所、認可外保育施設:11か所	対象施設85か所 公立保育所:25か所、幼稚園:26か所、認可外保育施設:10か所	対象施設87か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:25か所、幼稚園:26か所、認可外保育施設:11か所	対象施設102か所 公立保育所:25か所、民間認可保育所:37か所、幼稚園:26か所、認可外保育施設:14か所		
(16)	長期避難者等支援事業	東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故によって本市に避難された方々が、各々の故郷に帰還できる日まで、行政サービスの提供等の支援を行う。また、本市から自主避難している方々が自立できるよう支援を行う。	計画	・避難指示区域等からの避難者:特例法に基づく行政サービスの支援等 ・自主避難者 情報提供:12回、避難者交流会:11回	・避難指示区域等からの避難者:特例法に基づく行政サービスの支援等 ・自主避難者 情報提供:12回、避難者交流会:8回、戸別訪問	・避難指示区域等からの避難者:特例法に基づく行政サービスの支援等 ・自主避難者 情報提供:12回、避難者交流会:6回	・避難指示区域等からの避難者:特例法に基づく行政サービスの支援等 ・自主避難者 情報提供:12回、避難者交流会:1回	・避難指示区域等からの避難者:特例法に基づく行政サービスの支援等 ・自主避難者 情報提供:12回、避難者交流会:1回	総務部 総務法務課	◎
			実績	・避難指示区域等からの避難者:特例法に基づく行政サービスの支援等 ・自主避難者 情報提供:12回、避難者交流会:7回(延べ10人の職員が相談対応)	・避難指示区域等からの避難者:特例法に基づく行政サービスの支援等 ・自主避難者 情報提供:12回、避難者交流会:8回(延べ15人の職員が相談対応)、戸別訪問(延べ95人の職員を派遣)	・避難指示区域等からの避難者:特例法に基づく行政サービスの支援等 ・自主避難者 情報提供:12回、避難者交流会:1回	・避難指示区域等からの避難者:特例法に基づく行政サービスの支援等 ・自主避難者 情報提供:12回、避難者交流会:2回			
(17)	避難児童・生徒への就学支援対策の実施	原発事故の避難区域から避難している児童・生徒について、柔軟に本市の小中学校に受け入れ、経済的に就学が困難な児童生徒に就学援助費の支給を行い、保護者負担の軽減を図る。	計画	原発事故避難者に対する就学援助の実施	原発事故避難者に対する就学援助の実施	原発事故避難者に対する就学援助の実施	原発事故避難者に対する就学援助の実施	原発事故避難者に対する就学援助の実施	学校教育部 学校教育推進課	◎
			実績	原発事故避難者児童生徒:223名に対して就学援助を行った	原発事故避難者児童生徒:222名に対して就学援助を行った	原発事故避難者児童生徒:193名に対して就学援助を行った	原発事故避難者児童生徒:186名に対して就学援助を行った	原発事故避難者児童生徒:168名に対して就学援助を行った		
施策の方向 3 子育ての悩みや不安の予防・解消を図る支援の充実										
(1)	養育支援訪問事業	出産後6か月以内の母親の育児や家事の負担を軽減し、心身の健康と安心して子育てできる環境整備を図るため、ホームヘルパーの派遣を行うほか、育児支援が必要な家庭に助産師や保健師等を派遣し、育児不安の解消、助言・指導を行う。	計画	1産後ヘルパー派遣事業:24人 2育児家庭訪問事業:延べ108か所	1産後ヘルパー派遣事業:24人 2育児家庭訪問事業:延べ108か所	1産後ヘルパー派遣事業:21人 2育児家庭訪問事業:延べ108か所	1産後ヘルパー派遣事業:18人 2育児家庭訪問事業:延べ108か所	1産後ヘルパー派遣事業:20人 2育児家庭訪問事業:延べ100か所	子ども部 子ども支援課	△
			実績	1産後ヘルパー派遣事業:20人 2育児家庭訪問事業:延べ51か所	1産後ヘルパー派遣事業:17人 2育児家庭訪問事業:延べ77か所	1産後ヘルパー派遣事業:23人 2育児家庭訪問事業:延べ84か所	1産後ヘルパー派遣事業:27人 2育児家庭訪問事業:延べ68か所	1産後ヘルパー派遣事業:28人 2育児家庭訪問事業:延べ43か所		
(2)	産後ケア事業	妊娠時から切れ目のない子育て支援の充実を図るため、産院を退院し心身ともに不安定になりやすい時期に産後ケア事業（ショートステイ・デイケア）を行い母体回復や育児不安の軽減を図る。	計画	ショートステイ:60人 デイケア:84人	ショートステイ:48人 デイケア:60人	ショートステイ:36人 デイケア:72人	ショートステイ:36人 デイケア:144人	ショートステイ:28人 デイケア:127人	子ども部 子ども支援課	○
			実績	ショートステイ:8人、延べ35日 デイケア:35人、延べ51日	ショートステイ:27人、延べ105日 デイケア:82人、延べ103日	ショートステイ:27人、延べ108日 デイケア:127人、延べ145日	ショートステイ:11人、延べ51日 デイケア:105人、延べ120日	ショートステイ:19人、延べ72日 デイケア:148人、延べ159日		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 2 健康			事業量					担当課	R01 評価	
基本施策 2 子どもや母親の健康の確保			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
施策の方向 3 子育ての悩みや不安の予防・解消を図る支援の充実										
(3)	地域子育て支援センター事業 【再掲】	地域子育て支援センターにおいて子育てに関する相談を受けることにより、子育ての不安感の軽減や、親子のふれあいや情報交換を図る。	計画	電話・面接による相談（随時）	電話・面接による相談（随時）	電話・面接による相談（随時）	電話・面接による相談（随時）	電話・面接による相談（随時）	子ども部 子ども支援課	◎
			実績	相談件数 東部:171件、西部:323件、南部:244件、北部:428件	相談件数 東部:344件、西部:367件、南部:462件、北部:303件	相談件数 東部:301件、西部:419件、南部:378件、北部:234件	相談件数 東部:287件、西部:428件、南部:615件、北部:252件	相談件数 東部:396件、西部:358件、南部:473件、北部:185件		
(4)	子ども総合支援センター「ニコニコ子ども館」事業 【再掲】	「ニコニコ子ども館」において、子育ての相談、親子の触れ合い、親同士子ども同士の交流を図るため、毎日、様々な事業を実施し、総合的な子育て支援を図る。 ※移動サロン・リズムとからだのあそび・わくわくつどいの広場・子育て講座等	計画	子育てサロン他各種事業を実施	子育てサロン他各種事業を実施	子育てサロン他各種事業を実施	子育てサロン他各種事業を実施	子育てサロン他各種事業を実施	子ども部 子ども支援課	◎
			実績	子育てサロン:60,609人、移動サロン:311人、わくわく:610人、子育て講座:114人	子育てサロン:58,648人、移動サロン:260人、わくわく:634人、子育て講座:179人、リズムとからだ:1,341人	子育てサロン63,127人、移動サロン:329人、わくわく:578人、子育て講座:80人、リズムとからだ:1,473人	子育てサロン66,969人、移動サロン:274人、わくわく:675人、子育て講座:222人、リズムとからだ:1,360人	子育てサロン61,594人、移動サロン:217人、わくわく:599人、子育て講座:274人、リズムとからだ:1,377人		
(5)	母子保健推進活動事業 (すくすく相談)	乳幼児及びその保護者、又は健康診査等で育児不安が見られる保護者を対象に、保健師、栄養士、歯科衛生士による相談事業を行い、子どもの健やかな成長を支援する。	計画	年28回 集団:18回 個別:10回	年22回 集団:12回 個別:10回	年22回 集団:12回 個別:10回	年17回 集団:7回 個別:10回	年17回 集団:7回 個別:10回	子ども部 子ども支援課	○
			実績	年22回:819人 集団:12回、490人 個別:10回、329人	年23回:793人 集団:13回、501人 個別:10回、292人	年20回:704人 集団:10回、478人 個別:10回、226人	年17回:458人 集団:7回、184人 個別:10回、274人	年14回:398人 集団:5回、136人 個別:9回、262人		
(6)	母子保健推進活動事業 (おやこふれあい教室)	心身の発達が遅れがちな幼児に対して、集団指導を行い、よりよい親子関係づくりを支援するとともに、早期療養指導等の支援により、子どもの健やかな成長を図る。	計画	年36回	年37回	年37回	年38回	年38回	子ども部 子ども支援課	○
			実績	年37回:660人	年37回:663人	年37回:640人	年38回:635人	年36回:596人		
(7)	母子保健推進活動事業 (子ども相談)	乳幼児の健康診査等で身体の発育・発達及び精神発達に問題があると思われる乳幼児、あるいは身体機能障がいをもたらす可能性のある乳幼児を対象に、専門医師等による相談指導等を行い、異常の早期発見及び適切な措置を図るとともに健やかな成長を支援する。	計画	年55回	年60回	年62回	年62回	年62回	子ども部 子ども支援課	○
			実績	年50回、116件	年53回:121人	年51回:127人	年48回:109人	年53回:118人		
(8)	母子保健推進活動事業 (育児教室（はじめてのパパママ教室）)	乳児(生後4か月までの初めてのお子さん)を持つ保護者を対象に、育児に関する講話や相談・情報交換等を行い、保健・育児についての認識を高め、子どもの健やかな育成を支援する。	計画	年12回	年12回	年12回	年12回	年12回	子ども部 子ども支援課	○
			実績	年12回:706人	年12回:669人	年12回:674人	年12回:745人	年10回:536人		
(9)	子育てハンドブック等の作成	子育ての不安や悩みを解消するため子育てハンドブック等を作成し、育児方法や市の子育て支援施策、子どもの遊び場などの情報を提供する。	計画	15,000部作成	15,000部作成	15,000部作成	15,000部作成	13,000部作成	子ども部 子ども支援課	◎
			実績	15,000部作成	15,000部作成	15,000部作成	12,000部作成	12,000部作成		
(10)	ウェルカム赤ちゃん事業	子育て世帯を支援するとともに、未来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、新生児に記念品を贈る。	計画	随時実施(出生届が出されたとき)	随時実施(出生届が出されたとき)	随時実施(出生届が出されたとき)	随時実施(出生届が出されたとき)	随時実施(出生届が出されたとき)	子ども部 子ども未来課	◎
			実績	記念品配布者数:2,904人	記念品配布者数:2,845人	記念品配布者数:2,759人	記念品配布者数:2,682人	記念品配布者数:2,496人		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 2 健康								R01 評価		
基本施策 2 子どもや母親の健康の確保			事業量							
施策の方向 3 子育ての悩みや不安の予防・解消を図る支援の充実			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	担当課		
(11)	子育て支援サイト	保育所・幼稚園の入所・入園をはじめ、母子保健や医療、教育等子育てにかかる情報を子育て支援サイトへ掲載し、市民に提供する。	計画	随時更新	随時更新	随時更新	随時更新	随時更新	こども部 こども未来課 こども支援課 こども育成課	◎
			実績	更新	更新	更新	更新	更新		
(12)	子育て世代包括支援センター事業【再掲】	妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目ない支援の強化を図るため、妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進に関する包括的な支援を行う。	計画	—	—	通年を通して実施	通年を通して実施	通年を通して実施	こども部 こども支援課	○
			実績	—	—	対応件数：4,805件	対応件数：6,179件	対応件数：6,323件		
施策の方向 4 家庭内における事故防止			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	事故予防モデルルームにおける啓発	郡山市こども総合支援センター「ニコニコこども館」に事故予防モデルルームを設置し、家庭で発生しやすい事故とその予防方法について周知・啓発する。	計画	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	こども部 こども支援課	◎
			実績	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施		

施策領域 2 健康								R01 評価		
基本施策 3 思春期保健対策の充実			事業量							
施策の方向 1 心と体の健康づくりに向けた正しい知識の普及			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	担当課		
(1)	母子健康教育事業	児童、生徒が生命の大切さを実感できるよう、発達段階に応じた思春期保健講座を開催する。	計画	年45回	年21校	年25校	年25校	年26校	こども部 こども支援課	○
			実績	73回開催、21校、参加者2,177人	87回開催、24校、参加者2,418人	84回開催、25校、参加者2,471人	86回開催、25校、参加者2,491人	79回開催、23校、参加者2,243人		
(2)	各種講座の実施	講座やイベントの実施及び情報提供により、学校や地域での*リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方の普及を図る。 *生涯を通じて自らの身体について自己決定を行い健康を享受する権利のこと	計画	2講座 情報提供	2講座 情報提供	2講座 情報提供	2講座 情報提供	2講座3回ずつ 情報提供	市民部 男女共同参画課	◎
			実績	*講座：2種類3回ずつ、 研修会：1回実施 ・情報提供	・講座：3種類2回ずつ ・情報提供	・講座：3種類2回ずつ ・情報提供	2講座3回ずつ 情報提供	3講座2回ずつ 情報提供		
(3)	エイズ対策事業	エイズの知識を普及・啓発する人材の育成を目的としたエイズ対策養成研修会を開催する。また、中学生や高校生を対象に性感染症予防を図るため、思春期保健講座を行う。	計画	年1回	年1回	年1回	エイズ対策研修会：年1回 思春期保健講座：年12回	エイズ対策研修会：年1回 思春期保健講座：年10回	保健福祉部 保健所 地域保健課	◎
			実績	1回開催、参加者：67人	1回開催、参加者：110人	エイズ対策研修会：1回開催、参加者64人 思春期保健講座：11回開催、参加者1147人	エイズ対策研修会：1回開催、参加者68人 思春期保健講座：11回開催、参加者687人	エイズ対策研修会：1回開催、参加者69人 思春期保健講座：11回開催、参加者1,764人		
施策の方向 2 心の問題に関する相談及び体験活動の機会の提供			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	スクールカウンセラー配置事業	いじめや不登校等の問題行動や児童生徒の悩み等の解決のため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー及びスーパーバイザーを配置し、専門性を高めるための研修を行う。また、学校規模や現場のニーズ等に応じて、担当する学校や1日の勤務時間等の見直しを図る。	計画	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全市立学校	全市立学校	学校教育部 総合教育支援センター	○
			実績	相談件数：16,916件	相談件数：15,374件	相談件数：15,523件	相談件数：15,868件	相談件数：16,599件		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 2 健康								R01 評価	
基本施策 3 思春期保健対策の充実			事業量						担当課
施策の方向 2 心の問題に関する相談及び体験活動の機会の提供			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(2) 適応指導事業	不登校や引きこもりなど、さまざまな問題をかかえる児童生徒の学校適応を支援するため、個別の学習支援や体験活動実施等の適応指導教室の運営と電話・面接等による教育相談、専門カウンセラー配置事業を行う。	計画 実績	適応指導教室の運営、電話等による教育相談、専門カウンセラー配置、特別支援教育巡回訪問相談、ケース会議 年間を通して実施	適応指導教室の運営、電話等による教育相談、専門カウンセラー配置、特別支援教育巡回訪問相談、ケース会議 年間を通して実施	適応指導教室の運営、電話等による教育相談、専門カウンセラー配置、特別支援教育巡回訪問相談、ケース会議 年間を通して実施	適応指導教室の運営、電話等による教育相談、専門カウンセラー配置、特別支援教育巡回訪問相談、ケース会議 年間を通して実施	適応指導教室の運営、電話等による教育相談、専門カウンセラー配置、特別支援教育巡回訪問相談、ケース会議 年間を通して実施	学校教育部 総合教育支援センター	○

施策領域 2 健康								R01 評価	
基本施策 4 食育の推進			事業量						担当課
施策の方向 1 食に関する学習機会や情報提供への取組			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1) すこやか離乳食教室	食生活の第一歩である離乳食について、保育者に対し、望ましい食生活・食習慣の形成ができるよう支援する目的で、月齢に合わせた離乳食（初期・中期・後期・完了期）の進め方について講話と調理実習を行う。	計画 実績	3回コース：36回、1回コース：12回 ※1回コースの拡充 3回コース：38回、1回コース：12回	3回コース：36回、1回コース：12回 ※1回ごとの定員を20組から24組に拡充 3回コース：36回 1回コース：12回	2回コースを月2回実施 計46回実施 3回コース：9回 2回コース：36回 1回コース：1回	2回コース：48回 3回コース：9回 2回コース：36回 1回コース：1回	2回コース：48回 2回コース：44回	保健福祉部 保健所 地域保健課	◎
(2) おやこ栄養教室【小児肥満予防等については3歳児健診等で取組んで行くため、平成28年度で事業終了】	子どもの健全な発育のため、幼児期から「食」に関する知識を学び、基本的な食習慣や生活習慣を身につけ、小児肥満を予防するとともに将来への生活習慣病予防を図る。	計画 実績	年3回 栄養調査分析 年3回 栄養調査分析：28件	年3回 栄養調査分析 年3回 栄養調査分析：31件	終了			保健福祉部 保健所 地域保健課	-
(3) 食生活改善推進員育成研修会	地域において幼児から高齢者までライフステージにあわせた正しい食生活の推進を役割としている食生活改善推進員を対象に、食生活についての講話・調理実習、運動の講話・実技の研修会を実施する。	計画 実績	育成研修会：4回 全体研修会：1回 育成研修会：4回 全体研修会：1回	育成研修会：4回 全体研修会：1回 育成研修会：4回 全体研修会：1回	育成研修会：4回 全体研修会：1回 育成研修会：4回 全体研修会：1回	育成研修会：4回 全体研修会：1回 育成研修会：4回 全体研修会：1回	新人講習会：1回 育成研修会：3回 全体講習会：1回 新人講習会：1回 育成研修会：3回 全体講習会：1回	保健福祉部 保健所 地域保健課	◎
(4) 食育推進事業	市民が「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できるよう、市民へ食育の周知啓発を図るとともに、関係団体等と連携し食育を推進します。	計画 実績	・食育推進庁内連絡会、食育推進協議会開催：年3回 ・食育月間の展示・食育ネットモニターの実施 ・食育推進庁内連絡会、食育推進協議会開催：年2回 ・食育月間の展示・食育ネットモニターの実施	・食育推進庁内連絡会、食育推進協議会開催：年3回 ・食育月間の展示・食育ネットモニターの実施 ・食育推進庁内連絡会、食育推進協議会開催：年2回 ・食育月間の展示・食育ネットモニターの実施 ・食育全国大会のブース出展	・食育推進庁内連絡会、食育推進協議会開催：年3回・第三次食育推進計画の策定・食育月間の展示・食育ネットモニターの実施 ・第三次食育推進計画の策定・食育推進庁内連絡会、食育推進協議会開催：年3回・食育ネットモニターの実施	・食育推進庁内連絡会、食育推進協議会開催：年3回・第三次食育推進計画の策定・食育月間の展示・食育ネットモニターの実施 ・健康づくり推進懇談会開催：年1回・食育月間の展示・食育ネットモニターの実施	・健康づくり推進懇談会開催：年1回・食育月間の展示・食育ネットモニターの実施 ・健康づくり推進懇談会開催：年1回・食育月間の展示・食育ネットモニターの実施	保健福祉部 保健所 地域保健課	◎
施策の方向 2 学校及び保育所給食等への郡山産産物の利用促進			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1) 学校給食等への地場産産物の利用促進	学校給食をとおして、食習慣の形成期にある児童・生徒が望ましい食生活を身につけるとともに、本市農業と地元産産物への理解を深める食農教育の促進を図るため、関係機関・団体と連携し、学校給食における地元産産物の利用を促進する取り組みを進める。	計画 実績	「あさか舞」全小中学校使用 「あさか舞」全小中学校使用	「あさか舞」全小中学校使用 「あさか舞」全小中学校使用	・「あさか舞」全小中学校使用 ・鯉料理の提供 ・「あさか舞」全小中学校使用 ・鯉料理の提供	・「あさか舞」全小中学校使用 ・鯉料理の提供 ・「あさか舞」全小中学校使用 ・鯉料理の提供	・「あさか舞」全小中学校使用 ・鯉料理の提供 ・「あさか舞」全小中学校使用 ・鯉料理の提供	農林部 園芸畜産振興課	◎

施策領域 2 健康								R01 評価	
基本施策 5 小児医療の充実			事業量						担当課
施策の方向 1 小児救急医療体制の確保			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1) 保健医療体制の充実(小児救急医療体制の確保)	休日や夜間における初期救急体制及び入院治療が必要な患者のための救急医療体制を確保する。 ※休日・夜間急病センター運営事業 ※在宅当番医制事業(委託) ※救急告示病院等運営事業(補助)	計画 実績	年間を通して実施 ℡受診者：16,503人、在宅当番医委託：5,700千円、小児病院詳細補助：17,470千円	年間を通して実施 ℡受診者：16,137人、在宅当番医委託：5,700千円、小児病院詳細補助：17,399千円	年間を通して実施 ℡受診者：16,089人、在宅当番医委託：5,700千円、救急告示病院等運営費補助：87,501千円	年間を通して実施 ℡受診者：15,234人、在宅当番医委託：5,700千円、救急告示病院等運営費補助：90,465千円	年間を通して実施 ℡受診者：13,473人、在宅当番医委託：5,700千円、救急告示病院等運営費補助：90,049千円	保健福祉部 保健所 総務課	○

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 2 健康									R01 評価	
基本施策 5 小児医療の充実			事業量					担当課		
施策の方向 2 医療・療育への支援			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	母子医療対策事業 (小児慢性特定疾病分)	小児慢性特定疾病治療及び特定不妊治療の実施に伴う経済的負担の軽減を図るため、治療に要する費用の一部を助成する。また、手帳を交付することにより、各関係者が小児慢性特定疾病児の症状を正しく理解し、適切な対応を行い、福祉の増進を図る。	計画	医療給付:364人 手帳交付:364人	医療給付及び手帳交付:300人	医療給付及び手帳交付:261人	医療給付及び手帳交付:299人	医療給付及び手帳交付:302人	こども部 こども支援課	○
			実績	医療給付:261人 手帳交付:261人	医療給付:264人 手帳交付:36人	医療給付:265人 手帳交付:31人	医療給付:258人 手帳交付:30人	医療給付:247人 手帳交付:26人		
(2)	母子医療対策事業 (未熟児養育医療・育成医療分)	未熟児養育医療及び育成医療の実施に伴う経済的負担の軽減を図るため、治療に要する費用の一部を助成する。	計画	未熟児養育医療:70人 育成医療:65人	未熟児養育医療:70人 育成医療:60人	未熟児養育医療:70人 育成医療:50人	未熟児養育医療:60人 育成医療:40人	未熟児養育医療:60人 育成医療:42人	こども部 こども支援課	○
			実績	未熟児養育医療:68人 育成医療:36人	未熟児養育医療:49人 育成医療:30人	未熟児養育医療:38人 育成医療:35人	未熟児養育医療:54人 育成医療:40人	未熟児養育医療:53人 育成医療:22人		

施策領域 3 子どもに関する専門的な支援の充実（要保護児童支援）									R01 評価	
基本施策 1 虐待防止対策の充実			事業量					担当課		
施策の方向 1 虐待の発生予防と早期発見			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	児童虐待防止啓発事業	児童虐待の未然防止及び早期発見、早期対応を推進するために、啓発活動等を進める。	計画	啓発活動:1回 研修会:2回	啓発活動:1回 研修会:2回	啓発活動:1回 研修会:2回	啓発活動:1回 研修会:2回	啓発活動:1回 研修会:2回	こども部 こども支援課	◎
			実績	啓発活動:1回 研修会:2回	啓発活動:1回 研修会:2回	啓発活動:1回 研修会:2回	啓発活動:1回 研修会:2回	啓発活動:1回 研修会:2回		
(2)	保育所の優先入所	児童虐待防止の観点から、特別な支援を必要とする家庭の児童や、仕事と家庭の両立を支援するため、ひとり親家庭の児童についても保育所の優先的な入所を承諾する。	計画	随時	随時	随時	随時	随時	こども部 こども育成課	◎
			実績	優先的な取扱いを実施	優先的な取扱いを実施	優先的な取扱いを実施	優先的な取扱いを実施	優先的な取扱いを実施		
(3)	地域子育て支援センター事業 【再掲】	地域子育て支援センターにおいて子育てに関する相談を受けることにより、子育ての不安感の軽減や、親子のふれあいや情報交換を図る。	計画	電話・面接による相談 (随時)	電話・面接による相談 (随時)	電話・面接による相談 (随時)	電話・面接による相談 (随時)	電話・面接による相談 (随時)	こども部 こども支援課	◎
			実績	相談件数 東部:171件、西部:323件、南部:244件、北部:428件	相談件数 東部:344件、西部:367件、南部:462件、北部:303件	相談件数 東部:301件、西部:419件、南部:378件、北部:234件	相談件数 東部:287件、西部:428件、南部:615件、北部:252件	相談件数 東部:396件、西部:358件、南部:473件、北部:185件		
(4)	養育支援訪問事業 【再掲】	出産後6か月以内の家庭における母親の育児や家事の負担を軽減し、心身の健康と安心して子育てできる環境整備を図るため、ホームヘルパーの派遣を行うほか、育児支援が必要な家庭に助産師や保健師等を派遣し、育児不安の解消、助言・指導を行う。	計画	1産後ヘルパー派遣事業:24人 2育児家庭訪問事業:延べ108か所	1産後ヘルパー派遣事業:24人 2育児家庭訪問事業:延べ108か所	1産後ヘルパー派遣事業:21人 2育児家庭訪問事業:延べ108か所	1産後ヘルパー派遣事業:18人 2育児家庭訪問事業:延べ108か所	1産後ヘルパー派遣事業:20人 2育児家庭訪問事業:延べ100か所	こども部 こども支援課	△
			実績	1産後ヘルパー派遣事業:20人 2育児家庭訪問事業:延べ51か所	1産後ヘルパー派遣事業:17人 2育児家庭訪問事業:延べ77か所	1産後ヘルパー派遣事業:23人 2育児家庭訪問事業:延べ84か所	1産後ヘルパー派遣事業:27人 2育児家庭訪問事業:延べ68か所	1産後ヘルパー派遣事業:28人 2育児家庭訪問事業:延べ43か所		
(5)	産後ケア事業 【再掲】	妊娠時から切れ目のない子育て支援の充実を図るため、産院を退院し心身ともに不安定になりやすい時期に産後ケア事業（ショートステイ・デイケア）を行い母体回復や育児不安の軽減を図る。	計画	ショートステイ:60人 デイケア:84人	ショートステイ:48人 デイケア:60人	ショートステイ:36人 デイケア:72人	ショートステイ:36人 デイケア:144人	ショートステイ:28人 デイケア:127人	こども部 こども支援課	○
			実績	ショートステイ:8人、延べ35日 デイケア:35人、延べ51日	ショートステイ27人、延べ105日 デイケア:82人、延べ103日	ショートステイ27人、延べ108日 デイケア:127人、延べ145日	ショートステイ11人、延べ51日 デイケア:105人、延べ120日	ショートステイ19人、延べ72日 デイケア:148人、延べ159日		
(6)	母子保健推進活動事業 【再掲】	生後4か月までの乳児及び保護者の育児に関する不安や悩みを聴き、子育て支援に関する情報提供を行う。	計画	訪問人数:2,340人	訪問人数:2,445人	訪問人数:2,468人	訪問人数:2,452人	訪問人数:2,281人	こども部 こども支援課	○
			実績	訪問人数:2,345人	訪問人数:2,335人	訪問人数:2,378人	訪問人数:2,277人	訪問人数:2,142人		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 3 子どもに関する専門的な支援の充実（要保護児童支援）								R01 評価		
基本施策 1 虐待防止対策の充実			事業量						担当課	
施策の方向 1 虐待の発生予防と早期発見			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(7)	母子保健推進活動事業 （助産師訪問指導） 【再掲】	新生児から生後4か月までの乳児を対象に希望者に健康状態の観察、把握をし、栄養や育児方法、疾病予防等の指導を行う。	計画	訪問人数:556人	訪問人数:703人	訪問人数:718人		訪問人数:557人	こども部 こども支援課	○
			実績	訪問人数:562人	訪問人数:548人	訪問人数:551人	訪問人数:435人	訪問人数:386人		
(8)	母子保健推進活動事業 （未熟児訪問指導及び相談） 【再掲】	未熟児及びその保護者を対象に、子どもの健やかな成長と保護者の育児に関する不安を軽減するため、子どもの発育・発達状態を確認し、栄養や育児方法、疾病予防等の必要な保健指導を行う。	計画	未熟児及び妊産婦:200人	未熟児及び妊産婦:300人	未熟児及び妊産婦:400人	未熟児及び妊産婦:360人	未熟児及び妊産婦:466人	こども部 こども支援課	○
			実績	妊産婦及び未熟児等:200人	妊産婦及び未熟児等:154人	訪問:194人 電話・来所相談等:116人	訪問:301人 電話・来所相談等:116人	訪問:357人 電話・来所相談等:172人		
(9)	母子保健推進活動事業 （おやこふれあい教室） 【再掲】	心身の発達が遅れがちな幼児に対して、集団指導を行い、よりよい親子関係づくりを支援するとともに、早期療養指導等の支援により、子どもの健やかな成長を図る。	計画	年37回	年37回	年37回	年38回	年38回	こども部 こども支援課	○
			実績	年37回、660人	年37回:633人	年37回:640人	年38回:635人	年36回:596人		
(10)	母子保健推進活動事業 （こども相談） 【再掲】	乳幼児の健康診査等で身体の発育・発達及び精神発達に問題があると思われる乳幼児、あるいは身体機能障がいをもたらす可能性のある乳幼児を対象に、専門医師等による相談指導等を行い、異常の早期発見及び適切な措置を図るとともに健やかな成長を支援する。	計画	年55回	年60回	年62回	年62回	年62回	こども部 こども支援課	○
			実績	年50回、116件	年53回:121人	年51回:127人	年48回:109人	年53回:118人		
(11)	子育て世代包括支援センター事業 【再掲】	妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目ない支援の強化を図るため、妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進に関する包括的な支援を行う。	計画	—	—	通年を通して実施	通年を通して実施	通年を通して実施	こども部 こども支援課	○
			実績	—	—	対応件数:4,805件	対応件数:6,179件	対応件数:6,323件		
施策の方向 2 関係機関との連携			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	郡山市要保護児童対策地域協議会の活用	関係機関・団体等との連携のもと、児童虐待の未然防止から支援までの一貫した活動を行う。	計画	会議開催、啓発活動、研修会開催	個別ケース検討会議:随時 啓発活動:1回 研修会:2回	個別ケース検討会議:随時 啓発活動:1回 研修会:2回	個別ケース検討会議:随時 啓発活動:1回 研修会:2回	個別ケース検討会議:随時 啓発活動:1回 研修会:2回	こども部 こども支援課	◎
			実績	個別ケース検討会議:33回 啓発活動:1回 研修会:2回	個別ケース検討会議:35回 啓発活動:1回 研修会:2回	個別ケース検討会議:43回 啓発活動:1回 研修会:2回	個別ケース検討会議:53回 啓発活動:1回 研修会:2回	個別ケース検討会議:60回 啓発活動:1回 研修会:2回		
(2)	子ども家庭総合支援拠点事業 （旧家庭児童相談室の運営）	家庭における子どもの養育について、保護者等からの相談に応じ、助言や指導を行うほか、児童虐待等の通告があり、子どもの保護が必要と認められる場合は、児童相談所への通告・送致を行う。	計画	随時	随時	随時	随時	随時	こども部 こども支援課	◎
			実績	相談・通告件数:552件	相談・通告件数:574件	相談・通告件数:516件	相談・通告件数:515件	相談・通告件数:478件		
(3)	主任児童委員、民生委員、児童委員との連携	連携を図りながら、地域における児童虐待発生予防から再発防止までの取組みを行う。	計画	随時	随時	随時	随時	随時	こども部 こども支援課	◎
			実績	相談件数:4件	相談件数:6件	相談件数:5件	相談人数:1件	相談人数:1件		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 3 子どもに関する専門的な支援の充実（要保護児童支援）				事業量					担当課	R01 評価
基本施策 2 ひとり親家庭の自立支援の推進				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
施策の方向 1 子育て支援・生活の場の支援				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1)	母子自立支援事業	母子家庭の母等が経済的・社会的自立を するための相談に応じ、必要な助言・指導 を行う。	計画	随時	随時	随時	随時	随時	こども部 こども支援課	◎
			実績	相談件数:266件	相談件数:1,967件	相談件数:1,583件	相談件数:1,500件	相談件数:1,327件		
(2)	市営住宅母子世帯向け優先募集の 実施	市営住宅の毎月の空家募集において、一 部を母子世帯の優先枠で募集する。	計画	母子世帯向け住戸優 先枠募集の実施	母子世帯向け住戸優 先枠募集の実施	母子世帯向け住戸優 先枠募集の実施	母子世帯向け住戸優 先枠募集の実施	母子世帯向け住戸優 先枠募集の実施	建設交通部 住宅政策課	◎
			実績	募集戸数:12戸 申込件数:31件	募集戸数:14戸 申込件数:52件	募集戸数:12戸 申込件数:48件	募集戸数:20戸 申込件数:36件	募集戸数:17戸 申込件数:9件		
(3)	養育費についての啓発	母子家庭の母から経済的・社会的自立を 図るための相談に応じる際、養育費の取 り決めや確保について、助言を行う。	計画	随時	随時	随時	随時	随時	こども部 こども支援課	◎
			実績	相談件数:6件	相談件数:1件	相談件数:0件	相談件数:2件	相談件数:8件		
(4)	母子・父子福祉センター事業	母子家庭等に対して様々な相談に応ずる ことのほかに、生業指導や技能習得の助 言を行う等、母子家庭等に対する総合的 な支援を行う。	計画					パソコン講座:17回 茶話会:3回 親子バスツアー:1回	こども部 こども支援課	◎
			実績					パソコン講座:17回 茶話会:3回 親子バスツアー:1回		
(5)	ファミリーサポートセンター事業 【再掲】	地域における子育てサポート体制の整備 を図るため、地域のネットワークの充実 を図りながら取り組み、会員同士の相互 援助活動を進める。	計画	会員研修・情報提供・相 互援助活動	会員研修・情報提供・相 互援助活動	会員研修・情報提供・相 互援助活動	会員研修・情報提供・相 互援助活動	会員研修・情報提供・相 互援助活動	こども部 こども支援課	◎
			実績	活動件数:延べ2,383件	活動件数:延べ2,725件	活動件数:延べ3,137件	活動件数:延べ3,189件	活動件数:延べ2,186件		
(6)	放課後児童対策事業 【再掲】	昼間、就労等により保護者が家庭にいな い児童を対象に、放課後の生活の場を確 保し、育成・指導を行う。	計画	入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	こども部 こども未来課	◎
			実績	放課後児童クラブ入会希望調査 実施校:58校 児童クラブの巡回・指導実施(月1 ~2回)	放課後児童クラブ入会希望調査 実施校:57校 児童クラブの巡回・指導実施(月1 ~2回)	放課後児童クラブ入会希望調査 実施校:57校 児童クラブの巡回・指導実施(月2 ~3回)	放課後児童クラブ入会希望調査 実施校:54校 児童クラブの巡回・指導実施(月2 ~3回)	放課後児童クラブ入会希望調査 実施校:53校 児童クラブの巡回・指導実施(月2 ~3回)		
(7)	保育所の優先入所 【再掲】	児童虐待防止の観点から、特別な支援を 必要とする家庭の児童や、仕事と家庭の 両立を支援するため、ひとり親家庭の児 童についても保育所の優先的な入所を承 諾する。	計画	随時	随時	随時	随時	随時	こども部 こども育成課	◎
			実績	優先的な取扱いを実 施	優先的な取扱いを実 施	優先的な取扱いを実 施	優先的な取扱いを実 施	優先的な取扱いを実 施		
施策の方向 2 就労支援				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1)	母子家庭等就業・自立支援セン ター事業	専任の相談員による就業相談のほか、ハ ローワークと連携した就業情報提供等、 一貫した就労支援サービスを行う。	計画	随時	随時	随時	随時	随時	こども部 こども支援課	◎
			実績	相談者数:18人 就業者数:7人	相談者数:18人 就業者数:7人	相談者数:25人 就業者数:17人	相談者数:35人 就業者数:4人	相談者数:44人 就業者数:2人		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 3 子どもに関する専門的な支援の充実（要保護児童支援）								R01 評価		
基本施策 2 ひとり親家庭の自立支援の推進				事業量					担当課	
施策の方向 3 経済的支援				27年度	28年度	29年度	30年度			元年度
(1)	ひとり親家庭医療費助成事業	18歳までの児童を養育しているひとり親家庭の生活の安定と健康福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成する。	計画	年間を通して実施 受給者数:9,000人 助成件数:24,000人	年間を通して実施 受給者数:9,000人 助成件数:26,000件	年間を通して実施 受給者数:9,000人 助成件数:26,000件	年間を通して実施 受給者数:8,500人 助成件数:24,000件	年間を通して実施 受給者数:8,500人 助成件数:24,000件	子ども部 子ども支援課	◎
			実績	年間を通して実施 受給者数:8,586人 助成件数:24,921件	年間を通して実施 受給者数:8,270人 助成件数:22,747件	年間を通して実施 受給者数:7,887人 助成件数:18,936件	年間を通して実施 受給者数:7,774人 助成件数:22,056件	年間を通して実施 受給者数:7,585人 助成件数:18,490件		
(2)	母子家庭等自立支援給付金事業	母子家庭等の母等の求職活動の促進及び就業に必要な知識、技能の取得を容易にするため、給付金を支給する。	計画	自立支援教育訓練費:対象者の20%（限度額100千円） 高等職業訓練促進給付金:15件 訓練修了支援給付金:6件	自立支援教育訓練給付金:5件 高等職業訓練促進給付金:12件 訓練修了支援給付金:6件	自立支援教育訓練給付金:1件 高等職業訓練促進給付金:13件 訓練修了支援給付金:5件	自立支援教育訓練給付金:6件 高等職業訓練促進給付金:13件 訓練修了支援給付金:1件	自立支援教育訓練給付金:6件 高等職業訓練促進給付金:14件 訓練修了支援給付金:3件	子ども部 子ども支援課	○
			実績	自立支援教育訓練給付金:1件 高等職業訓練促進給付金:13件 訓練修了支援給付金:7件	自立支援教育訓練給付金:2件 高等職業訓練促進給付金:12件 訓練修了支援給付金:6件	自立支援教育訓練給付金:5件 高等職業訓練促進給付金:8件 訓練修了支援給付金:6件	自立支援教育訓練給付金:3件 高等職業訓練促進給付金:12件 訓練修了支援給付金:7件	自立支援教育訓練給付金:2件 高等職業訓練促進給付金:14件 訓練修了支援給付金:3件		
(3)	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	母子家庭の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせてその扶養している児童の福祉を増進するため、無利子または低利子で各種資金（修学、就学支度、修業等）の貸付を行う。	計画	年間を通して実施	貸付件数:24件	貸付件数:20件	随時	随時	子ども部 子ども支援課	◎
			実績	貸付件数:20件	貸付件数:19件	貸付件数:22件	貸付件数:8件	貸付件数:14件		
(4)	児童扶養手当	母子、父子家庭の保護者や、親に代わってその児童を養育している方に対して手当を支給する。	計画	年間を通して実施 受給資格者数:3,700人	年間を通して実施 受給資格者数:3,700人	年間を通して実施 受給資格者数:3,700人	年間を通して実施 受給資格者数:3,700人	年間を通して実施 受給資格者数:3,700人	子ども部 子ども支援課	◎
			実績	受給資格者数:3,571人	受給資格者数:3,483人	受給資格者数:3,368人	受給資格者数:3,296人	受給資格者数:3,205人		

施策領域 3 子どもに関する専門的な支援の充実（要保護児童支援）								R01 評価		
基本施策 3 障がい児施策の充実				事業量					担当課	
施策の方向 1 障がい児の地域における相談支援体制				27年度	28年度	29年度	30年度			元年度
(1)	児童発達支援事業	障がい児にとって身近な地域で支援を受けられるよう、市内の児童発達支援センターを充実させるなど、児童発達支援体制の確立を図る。	計画	1カ所に委託・アドバイザー設置、事業所との情報交換会の実施(4回)・研修会の実施(3回)・就学に向けた保護者説明会の実施(1回)	1カ所に委託・アドバイザー設置、事業所との情報交換会の実施(4回)・研修会の実施(3回)・就学に向けた保護者説明会の実施(1回)	1カ所に委託・アドバイザー設置、事業所との情報交換会の実施(4回)・研修会の実施(3回)・就学に向けた保護者説明会の実施(1回)	1カ所に委託・アドバイザー設置、事業所との情報交換会の実施(4回)・研修会の実施(3回)・就学に向けた保護者説明会の実施(1回)	1カ所に委託・アドバイザー設置、事業所との情報交換会の実施(4回)・研修会の実施(3回)・就学に向けた保護者説明会の実施(1回)	保健福祉部 障がい福祉課	○
			実績	1カ所に委託・アドバイザー設置、事業所との情報交換会の実施(4回)・研修会の実施(3回)・就学に向けた保護者説明会の実施(1回)	1カ所に委託・アドバイザー設置、事業所との情報交換会の実施(4回)・研修会の実施(3回)・就学に向けた保護者説明会の実施(1回)	1カ所に委託・アドバイザー設置、事業所との情報交換会の実施(4回)・研修会の実施(3回)・就学に向けた保護者説明会の実施(1回)	1カ所に委託・アドバイザー設置、事業所との情報交換会の実施(4回)・研修会の実施(2回)・就学に向けた保護者説明会の実施(中止)			
(2)	発達障がい児療育支援事業	発達障がい児の療育に関する正しい理解と養育に関する不安解消を図るため、保護者や支援者を対象とする講習会及び相談会を行う。	計画	療育指導講習会:5回、フォローアップ相談会:10回、親子9組程度	療育指導講習会:5回、フォローアップ相談会:9回、親子9組程度	療育指導講習会:5回、フォローアップ相談会:9回、親子9組程度	療育指導講習会:5回、フォローアップ相談会:9回、親子9組程度	療育指導講習会:10回、フォローアップ相談会:9回、親子9組程度	保健福祉部 障がい福祉課	○
			実績	療育指導講習会:5回、フォローアップ相談会:9回、親子9組	療育指導講習会:5回、フォローアップ相談会:9回、親子9組	療育指導講習会:5回、フォローアップ相談会:9回、親子9組	療育指導講習会:5回、フォローアップ相談会:9回、親子7組			
(3)	居宅介護事業	身体に障がいがある児童又は知的障がいがある児童が日常生活を営む上で支援が必要な家庭にヘルパーを派遣し、入浴、排泄、食事等の介護、外出等の支援を行う。	計画	・居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護 合算で10,859時間	・居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護 合算で11,402時間	・居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護 合算で11,972時間	・居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護 合算で11,686時間	・居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護 合算で12,328時間	保健福祉部 障がい福祉課	○
			実績	・居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護 合算で10,655時間	・居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護 合算で10,616時間	・居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護 合算で11,761時間	・居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護 合算で12,407時間			
(4)	短期入所事業	保護者の疾病その他の理由により、家庭において介護を受けることが一時的に困難になった障がい児を施設に入所させ、必要な保護を行う。	計画	市内8施設 延べ利用日数:7,740日、実利用者数:90人	市内9施設 延べ利用日数:8,256日、実利用者数:96人	市内9施設 延べ利用日数:8,808日、実利用者数:102人	市内8施設 延べ利用日数:10,505日、実利用者数:125人	市内8施設 延べ利用日数:11,870日、実利用者数:135人	保健福祉部 障がい福祉課	○
			実績	市内8施設 延べ利用日数:8,086日、実利用者数:96人	市内8施設 延べ利用日数:8,675日、実利用者数:109人	市内8施設 延べ利用日数:9,765日、実利用者数:107人	市内8施設 延べ利用日数:11,034日、実利用者数:124人	市内8施設 延べ利用日数:11,654日、実利用者数:132人		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 3 子どもに関する専門的な支援の充実（要保護児童支援）								R01 評価	
基本施策 3 障がい児施策の充実		事業量					担当課		
施策の方向 1 障がい児の地域における相談支援体制		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(5)	障がい児通所支援事業	障がい児が通所し、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練を行い、育成を助長する。さらに、学校通学中の障がい児の自立を促進するとともに、放課後の居場所作りを推進する。また、保育所等を利用中、あるいは利用予定の障がい児に訪問支援を実施し、保育所等の安定した利用を促進する。	計画 市内17事業所 延べ利用日数:62,784日、実 利用者数:510人	計画 市内20事業所 延べ利用日数:70,512日、実 利用者数:550人	計画 市内39事業所 延べ利用日数:76,580日、実 利用者数:830人	計画 市内42事業所 延べ利用日数:88,840日、実 利用者数:760人	計画 市内47事業所 延べ利用日数:104,8元日、実 利用者数:854人	保健福祉部 障がい福祉課	○
			実績 市内20事業所 延べ利用日数:64,808日、実 利用者数:527人	実績 市内23事業所 延べ利用日数:76,526日、実 利用者数:644人	実績 市内40事業所 延べ利用日数:90,777日、実 利用者数:908人	実績 市内47事業所 延べ利用日数:107,374日、実 利用者数:838人	実績 市内51事業所 延べ利用日数:100,926日、実 利用者数:904人		
(6)	保育所児童カウンセリング事業 【再掲】	臨床心理士が助言と指導を行なうことにより、発達障がい等の保護者の悩みや不安の解消を図る。	計画 認可保育所で実施	計画 180人実施	計画 相談人数:180人	計画 相談人数:203人	計画 相談人数:229人	こども部 こども育成課	○
			実績 140人実施	実績 相談人数:154人	実績 相談人数:154人	実績 相談人数:183人	実績 相談人数:194人		
施策の方向 2 保育サービス等の実施		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	放課後児童対策事業 【再掲】	昼間、就労等により保護者が家庭にいない児童を対象に、放課後の生活の場を確保し、育成・指導を行う。	計画 入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	計画 入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	計画 入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	計画 入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	計画 入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	こども部 こども未来課	◎
			実績 放課後児童クラブ入会希望調査 実施校:58校 児童クラブの巡回・指導実施(月1 ~2回)	実績 放課後児童クラブ入会希望調査 実施校:57校 児童クラブの巡回・指導実施(月1 ~2回)	実績 放課後児童クラブ入会希望調査 実施校:57校 児童クラブの巡回・指導実施(月2 ~3回)	実績 放課後児童クラブ入会希望調査 実施校:54校 児童クラブの巡回・指導実施(月2 ~3回)	実績 放課後児童クラブ入会希望調査 実施校:53校 児童クラブの巡回・指導実施(月2 ~3回)		
(2)	障がい児保育 【再掲】	集団保育が可能な軽・中程度の障がいを持つ児童の保育所への受け入れを行う。	計画 受入体制の整備及び 実施	計画 受入体制の整備及び 実施	計画 受入体制の整備及び 実施	計画 受入体制の整備及び 実施	計画 受入体制の整備及び 実施	こども部 こども育成課	◎
			実績 公立25か所で実施	実績 認可保育施設で実施	実績 認可保育施設で実施	実績 認可保育施設で実施	実績 認可保育施設で実施		
施策の方向 3 障がいの早期発見・早期療育		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	家庭養育指導講習会	障がいを持つ児童の保護者が、専門機関による家庭療育の方法を取得し、児童の能力の向上を図る。	計画 講習会開催(5日間) 親子10組程度	計画 講習会開催(5日間) 親子10組程度	計画 講習会開催(5日間) 親子10組程度	計画 講習会開催(5日間) 親子10組程度	計画 講習会開催(5日間) 親子10組程度	保健福祉部 障がい福祉課	-
			実績 講習会開催(5日間) 親子9組	実績 講習会開催(5日間) 親子9組	実績 講習会開催(5日間) 親子9組	実績 講習会開催(5日間) 親子9組	実績 指定管理へ移行した際 に、発達障がい児療育支 援事業の講習会等に集約		
(2)	母子保健推進活動事業 (こんにちは赤ちゃん訪問事業) 【再掲】	生後4か月までの乳児及び保護者の育児に関する不安や悩みを聴き、子育て支援に関する情報提供を行う。	計画 訪問人数:2,340人	計画 訪問人数:2,445人	計画 訪問人数:2,468人	計画 訪問人数:2,452人	計画 訪問人数:2,281人	こども部 こども支援課	◎
			実績 訪問人数:2,345人	実績 訪問人数:2,335人	実績 訪問人数:2,378人	実績 訪問人数:2,277人	実績 訪問人数:2,142人		
(3)	母子保健推進活動事業 (新生児訪問指導) 【再掲】	新生児の健康状態の観察、把握をし、栄養や育児方法、疾病予防等の指導を行う。	計画 訪問人数:556人	計画 訪問人数:703人	計画 訪問人数:718人	計画 訪問人数:583人	計画 訪問人数:557人	こども部 こども支援課	△
			実績 訪問人数:562人	実績 訪問人数:548人	実績 訪問人数:551人	実績 訪問人数:435人	実績 訪問人数:386人		
(4)	母子保健推進活動事業 (未熟児訪問指導及び相談) 【再掲】	未熟児及びその保護者を対象に、子どもの健やかな成長と保護者の育児に関する不安を軽減するため、子どもの発育・発達状態を確認し、栄養や育児方法、疾病予防等の必要な保健指導を行う。	計画 未熟児及び妊産婦:200人	計画 未熟児及び妊産婦:300人	計画 未熟児及び妊産婦:400人	計画 未熟児及び妊産婦:360人	計画 未熟児及び妊産婦:466人	こども部 こども支援課	◎
			実績 妊産婦及び未熟児等:200人	実績 妊産婦及び未熟児等:154人	実績 訪問:194人 電話・来所相談等:116人	実績 訪問:301人 電話・来所相談等:116人	実績 訪問:357人 電話・来所相談等:172人		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 3 子どもに関する専門的な支援の充実（要保護児童支援）								R01 評価		
基本施策 3 障がい児施策の充実			事業量						担当課	
施策の方向 3 障がいの早期発見・早期療育			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(5)	母子保健推進活動事業 （おやこふれあい教室） 【再掲】	心身の発達が遅れがちな幼児に対して、 集団指導を行い、よりよい親子関係づく りを支援するとともに、早期療養指導等 の支援により、子どもの健やかな成長を 図る。	計画	年37回	年37回	年37回	年38回	年38回	こども部 こども支援課	○
			実績	年37回、660人	年37回：633人	年37回：640人	年38回：635人	年36回：596人		
(6)	母子保健推進活動事業 （こども相談） 【再掲】	乳幼児の健康診査等で身体の発育・発達及び精 神発達に問題があると思われる乳幼児、ある いは身体機能障がい等を招来する可能性のある 乳幼児を対象に、専門医師等による相談指導 等を行い、異常の早期発見及び適切な措置を 図るとともに健やかな成長を支援する。	計画	年55回	年60回	年62回	年62回	年62回	こども部 こども支援課	○
			実績	年50回、116件	年53回：121人	年51回：127人	年48回：109人	年53回：118人		
施策の方向 4 経済的支援			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	難聴児補聴器購入費等補助事業	身体障害者手帳の交付対象とならない難 聴児が、言語の獲得やコミュニケーション 能力の向上を図ることができるよう、 補聴器購入等費用の一部を助成する。	計画	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	保健福祉部 障がい福祉課	◎
			実績	17件（交付14件、修理3 件）、1,138,900円	20件（交付11件、修理9 件）、996,700円	16件（交付7件、修理9 件）、819,700円	17件（交付3件、修理14 件）、526,200円	15件（交付7件、修理 8件）、730,400円		
(2)	特別児童扶養手当	身体又は精神に中度又は重度の障がい を有する20歳未満の児童を監護している父 もしくは母、又は父母にかわって児童を 養育している方に対して手当を支給す る。	計画	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	保健福祉部 障がい福祉課	◎
			実績	受給者数：1,147人	受給者数：1,249人	受給者数：1,317人	受給者数：1,394人	受給者数：1,294人		
(3)	特別児童介護手当	精神又は身体に重度の障害を有する児童 を養育している者に対し、特別児童介護 手当を支給する。	計画	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	保健福祉部 障がい福祉課	◎
			実績	受給者数：318人	受給者数：326人	受給者数：339人	受給者数：330人	受給者数：326人		
(4)	障害児福祉手当	常時介護を必要とする20歳未満の重度の 心身障がい者に対し手当を支給する。	計画	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	保健福祉部 障がい福祉課	◎
			実績	受給者数：274人	受給者数：283人	受給者数：301人	受給者数：304人	受給者数：306人		
施策領域 4 職業生活と家庭生活との両立支援に向けた雇用環境の整備（仕事と生活の調和）								R01 評価		
基本施策 1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に向けた環境の整備			事業量						担当課	
施策の方向 1 労働者・事業主・地域住民への啓発・促進			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	産休等代替職員費補助事業 【事業見直しにより平成27年度で 事業終了】	社会福祉施設に勤務する職員の産前産後 休暇及び長期療養休暇の取得推進を図る ため、代替職員の雇用に要する経費の支 援を行う。	計画	実施	完了				こども部 こども育成課	-
			実績	1件						
(2)	広報啓発事業	仕事と生活の調和や男女共同参画社会の 推進など、時代の変化に対応した働きや すい職場環境の創造や就労条件の改善等 を図るため、周知・啓発を行う。	計画	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	政策開発部 雇用政策課	◎
			実績	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 4 職業生活と家庭生活との両立支援に向けた雇用環境の整備（仕事と生活の調和）										R01 評価
基本施策 1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に向けた環境の整備				事業量					担当課	
施策の方向 2 多様な働きに対応した保育サービスの充実				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1)	放課後児童健全育成事業 （放課後児童クラブ） 【再掲】	放課後、就労等により保護者のいない児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供して児童の健全育成を推進する。また、国の子ども・子育て支援新制度へ対応しながら、放課後児童クラブの運営を推進する。	計画	放課後児童クラブの運営 33校区(38施設)	放課後児童クラブの運営 36校区(47施設)	放課後児童クラブの運営 36校区(49施設)	放課後児童クラブの運営 37校区(53施設)	放課後児童クラブの運営 38校区(57施設)	こども部 こども未来課	◎
			実績	放課後児童クラブの運営 放課後児童クラブの整備 ・新規3校、増設3校	放課後児童クラブの運営 放課後児童クラブの整備 ・新規1校、増設1校	放課後児童クラブの運営 放課後児童クラブの整備 ・新規1校、増設3校	放課後児童クラブの運営 放課後児童クラブの整備 ・新規1校、増設3校、 施設返却1校	放課後児童クラブの運営 放課後児童クラブの整備 ・新規2校、増設1校		
(2)	延長保育事業 【再掲】	就労形態の多様化により、保育標準時間認定（11時間）又は保育短時間認定（8時間）を超える就労に対応する延長保育サービスを提供する。	計画	33か所 公立:18か所 民間:15か所	47か所 公立:18か所 民間:29か所	57か所 公立:18か所 民間:39か所	62か所 公立:18か所 民間:44か所	68か所 公立:18か所 民間:50か所	こども部 こども育成課	◎
			実績	37か所 公立:18か所 民間:19か所	47か所 公立:18か所 民間:29か所	57か所 公立:18か所 民間:39か所	62か所 公立:18か所 民間:44か所	68か所 公立:18か所 民間:50か所		
(3)	認可保育所等整備補助事業【再掲】 ・開設準備経費補助 ・認可化移行可能性調査支援	待機児童の解消と保育環境の向上のため、計画的に民間認可保育所等の設置を図る。各種支援策を実施する。	計画	確保方策に基づき施設整備	確保方策に基づき施設整備	確保方策に基づき施設整備	確保方策に基づき施設整備	確保方策に基づき施設整備	こども部 こども育成課	△
			実績	保育所4か所(うち分園2か所)、小規模:4か所、事業所内:1か所	保育所:3か所(うち分園1か所)、小規模:7か所、事業所内:1か所	認定こども園:2か所、保育所:2か所、小規模:4か所	保育所:5か所、小規模:1か所、認定こども園:1か所	保育所:1か所、認定こども園:2か所		
(4)	一時預かり事業 【再掲】	急な用事や短期就労など、子育て家庭の様々なニーズに合わせて、保育所及びニコニコ子ども館、幼稚園等において一時預かりの保育を行う。	計画	10か所で実施	10か所で実施	11か所で実施	11か所で実施	12か所で実施	こども部 こども支援課 こども育成課	◎
			実績	10か所で実施	10か所で実施	11か所で実施	12か所で実施	16か所で実施		
(5)	乳児保育事業 【再掲】	保護者の産後休暇・育児休暇からの職場復帰を支援するため、0歳児を対象とした乳児保育を行う。	計画	既存施設に加えて3号認定を受ける施設の整備	既存施設に加え3号認定を受ける施設を整備	54か所 公立:16か所 民間:38か所	59か所 公立:16か所 民間:43か所	66か所 公立:16か所 民間:50か所	こども部 こども育成課	◎
			実績	新規開設:9か所 (0歳児利用定員:73名増)	43か所 公立:16か所 民間:27か所	54か所 公立:16か所 民間:38か所	59か所 公立:16か所 民間:43か所	66か所 公立:16か所 民間:50か所		
(6)	ファミリーサポートセンター事業 【再掲】	地域における子育てサポート体制の整備を図るため、地域のネットワークの充実を図りながら取り組み、会員同士の相互援助活動を進める。	計画	会員研修・情報提供・相互援助活動	会員研修・情報提供・相互援助活動	会員研修・情報提供・相互援助活動	会員研修・情報提供・相互援助活動	会員研修・情報提供・相互援助活動	こども部 こども支援課	◎
			実績	活動件数:延べ2,383件	活動件数:延べ2,725件	活動件数:延べ3,137件	活動件数:延べ3,189件	活動件数:延べ2,186件		
(7)	病児・病後児保育事業 【再掲】	就労環境の整備と保護者負担の軽減を図るため、病気で保育所等に通所できない小学校3年生までの児童の一時的に預る。	計画	4か所で実施	4か所で実施	4か所で実施	4か所で実施	4か所で実施	こども部 こども育成課	◎
			実績	4か所で実施	4か所で実施	4か所で実施	4か所で実施	4か所で実施		
(8)	放課後児童対策事業 【再掲】	昼間、就労等により保護者が家庭にいない児童を対象に、放課後の生活の場を確保し、育成・指導を行う。	計画	入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	入会希望児童調査の実施 児童クラブ状況把握	こども部 こども未来課	◎
			実績	放課後児童クラブ入会希望調査実施校:58校 児童クラブの巡回・指導を実施(月1～2回)	放課後児童クラブ入会希望調査実施校:57校 児童クラブの巡回・指導実施(月1～2回)	放課後児童クラブ入会希望調査実施校:57校 児童クラブの巡回・指導実施(月2～3回)	放課後児童クラブ入会希望調査実施校:54校 児童クラブの巡回・指導実施(月2～3回)	放課後児童クラブ入会希望調査実施校:53校 児童クラブの巡回・指導実施(月2～3回)		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 4 職業生活と家庭生活との両立支援に向けた雇用環境の整備（仕事と生活の調和）								R01 評価		
基本施策 2 雇用環境の整備			事業量						担当課	
施策の方向 1 雇用の促進			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	高校生等就職応援事業 【新規高卒者の内定率が高い等の社会情勢を踏まえ事業終了】	就職を希望する高校3年生等に対し、面接指導等のセミナーを実施するほか、高校2年生等に対し、市内企業を見学するバスツアーの実施や、新規学卒者等に対し、合同就職面接会を開催し、早期就職を促進する。	計画	高校生就職支援事業：7回、就職挑戦セミナー：17回、地元企業見学学習事業：10回、就労の確保保事業：2回	高校生就職支援事業：7回、地元企業見学学習事業：10回、就労の確保保事業：2回	高校生就職支援事業：7回、地元企業見学学習事業：10回、就労の確保保事業：2回	高校生就職支援事業：6回、地元企業見学学習事業：5回、就労の確保保事業：2回	完了	政策開発部 雇用政策課	-
			実績	高校生就職支援事業：6回、就職挑戦セミナー：9回、地元企業見学学習事業：8回、就労の確保保事業：1回	高校生就職支援事業：6回、地元企業見学学習事業：9回、就労の確保保事業：1回	高校生就職支援事業：4回、地元企業見学学習事業：8回、就労の確保保事業：2回	高校生就職支援事業：4回、地元企業見学学習事業：5回、就労の確保保事業：2回			
(2)	広報啓発事業 【再掲】	仕事と生活の調和や男女共同参画社会の推進など、時代の変化に対応した働きやすい職場環境の創造や就労条件の改善等を図るため、周知・啓発を行う。	計画	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	政策開発部 雇用政策課	◎
			実績	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施		
(3)	UIJターン人材確保事業 【実施回数の減少による事業見直しにより事業終了】	人材確保に取り組む市内の中小企業を支援するため、市外大学等において市内中小企業の説明会を開催し、地元企業の良さや、働きやすさ、郡山市の住みやすさ等を知ってもらうことにより、市内中小企業へのUIJターンによる人材確保と様々な分野への雇用の拡大を図る。	計画	-	-	本市と就職支援について連携関係にある大学等で開催	本市と就職支援について連携関係にある大学等で開催	完了	政策開発部 雇用政策課	-
			実績	-	-	説明会：4回開催	説明会：2回開催			
施策の方向 2 職業意識・能力習得の推進			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	職業能力開発推進事業	高度な専門技術の習得と有能な技能者等の養成のため、郡山高等職業能力開発校及び郡山商工会議所ビジネススクールに対し、運営費を補助する。	計画	助成(2団体)	助成(2団体)	助成(2団体)	助成(2団体)	助成(2団体)	政策開発部 雇用政策課	◎
			実績	郡山高等職業能力開発校：3,000千円、郡山商工会議所ビジネススクール：2,700千円	郡山高等職業能力開発校：3,000千円、郡山商工会議所ビジネススクール：2,700千円	郡山高等職業能力開発校：3,000千円、郡山商工会議所ビジネススクール：2,700千円	郡山高等職業能力開発校：3,000千円、郡山商工会議所ビジネススクール：2,700千円	郡山高等職業能力開発校：3,000千円、郡山商工会議所ビジネススクール：3,064千円		
(2)	大学生等インターンシップ推進事業	郡山市の企業と学生等の「出会い」の創出を支援し、高い職業意識や勤労観の醸成を通して学生等の職場定着の促進を図る。	計画	商工会議所が主催するインターンシップ事業の促進	商工会議所が主催するインターンシップ事業の促進	商工会議所が主催するインターンシップ事業の促進	商工会議所が主催するインターンシップ事業の促進	商工会議所が主催するインターンシップ事業の促進	政策開発部 雇用政策課	○
			実績	・企業44社、学生90名、学校38校が参加。 ・合計82件がマッチングし、就業体験を実施。	・企業43社、学生78名、学校42校が参加。 ・合計67件がマッチングし、就業体験を実施。	・企業42社、学生77名、学校29校が参加。 ・合計77件がマッチングし、就業体験を実施。	・企業42社、学生84名、学校27校が参加。 ・合計66件がマッチングし、就業体験を実施。	・企業48社、学生60名、学校25校が参加。 ・合計54件がマッチングし、就業体験を実施。		
施策領域 4 職業生活と家庭生活との両立支援に向けた雇用環境の整備（仕事と生活の調和）								R01 評価		
基本施策 3 男女共同参画社会の推進			事業量						担当課	
施策の方向 1 男女共同参画の意識づくりと推進			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	男女共同参画推進事業	男女共同学習サポート事業（さんかく教室）や男女共同参画推進事業者表彰等の実施により市民の男女共同参画に対する理解や関心を高め、男女平等の意識づくりを推進し、男女共同参画社会の実現を目指す。	計画	年間通して	年間通して	・さんかく教室 ・事業者表彰	・さんかく教室 ・事業者表彰	・さんかく教室：35回 ・事業者表彰	市民部 男女共同参画課	△
			実績	年間通して	・さんかく教室：22回 ・事業者表彰：8者	・さんかく教室：28回 ・事業者表彰：3者	・さんかく教室：35回 ・事業者表彰	・さんかく教室：21回 ・事業者表彰：3者		
(2)	各種啓発事業の実施	家庭や職場等における男女共同参画を推進するため、男女共同参画推進週間や男女共同参画フェスティバル等において各種啓発活動を実施する。	計画	6月実施 2,3月実施	6月実施 2,3月実施	6月実施 2,3月実施	6月実施 2,3月実施	6月実施	市民部 男女共同参画課	◎
			実績	6月実施 3月実施	6月実施 2～3月実施	6月実施 2月実施	6月実施 2月実施	6月実施		
(3)	各種講座の実施	男女共同参画センター（さんかくプラザ）において実施するジェンダーに敏感な視点の浸透を推進する講座等を通じて、家庭における男女の共同責任と役割分担の意識啓発を図る。	計画	年12講座	年12講座	年12講座	年12講座	年12講座	市民部 男女共同参画課	◎
			実績	12講座開催	12講座開催	12講座開催	年12講座	11講座開催		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 4 職業生活と家庭生活との両立支援に向けた雇用環境の整備（仕事と生活の調和）								R01 評価			
基本施策 3 男女共同参画社会の推進			事業量				担当課				
施策の方向 1 男女共同参画の意識づくりと推進			27年度	28年度	29年度	30年度			元年度		
(4)	男女共同参画情報紙「シンフォニー」の発行	男女共同参画についての正しい理解と認識を深めるための情報を提供するため、市民との協働により情報紙を編集・発行し、全戸配布することで市民の意識の啓発を図る。	計画	年2回発行(全戸配布)	年2回発行(全戸配布)	年2回発行(全戸配布)	年2回発行(全戸配布)	年2回発行(全戸配布)	市民部 男女共同参画課	◎	
			実績	2回発行(全戸配布)	年2回発行(全戸配布)	年2回発行(全戸配布)	年2回発行(全戸配布)	年2回発行(全戸配布)			
(5)	女性活躍推進事業	あらゆる分野における女性の登用や活躍の推進を図ることを目的として、各種事業を行う。	計画	ネットワーク会議:3回、研修会等開催	ネットワーク会議:3回、講演会、理工系バスツアー	ネットワーク会議:3回、理工系バスツアー	ネットワーク会議:3回、理工系バスツアー	ネットワーク会議:3回、理工系バスツアー:2回 政治まるっと体験会:1回	市民部 男女共同参画課	◎	
			実績	ネットワーク会議:3回、研修会等開催	ネットワーク会議:3回、講演会、理工系バスツアー	ネットワーク会議:3回、理工系バスツアー	ネットワーク会議:3回、理工系バスツアー:2回 政治まるっと体験会:1回				
(6)	乳幼児ふれあい体験	小・中・高校生が、保育所等において乳幼児とふれあう体験活動を通じ、早い時期からの子育てに関する男女意識の平準化を図る。	計画	保育所訪問(25か所)	保育所訪問(25か所)	保育所訪問(25か所)	保育所訪問(25か所)	保育所訪問(25か所)	こども部 こども育成課	◎	
			実績	25か所	25か所	保育所訪問(25か所)	25か所	25か所			
(7)	育パサポート奨励事業	男性が積極的に子育てに関わることにより、働き方の見直しにつなげ、男性の育児参加の促進と子育て世帯の仕事と育児の両立支援を図る。	計画	-	奨励金支給:男性従業員20名	奨励金支給:男性従業員8名	奨励金支給:男性従業員8名	奨励金支給:男性従業員4名	政策開発部 雇用政策課	◎	
			実績	-	奨励金支給:男性従業員1名	奨励金支給:男性従業員6名	奨励金支給:男性従業員3名	奨励金支給:男性従業員5名			
施策の方向 2 人権尊重意識に立った暴力の根絶			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	R01 評価			
(1)	いじめ防止等啓発事業	「郡山市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止リーフレットやいじめ防止啓発ポスター等を活用するなどして、児童生徒の人権意識を高める。	計画	いじめ防止パンフレットの作成、いじめ問題対策連絡協議会の開催	いじめ防止パンフレットの配布・作成、いじめ問題対策連絡協議会の開催	いじめ防止パンフレットの配布・作成、いじめ問題対策連絡協議会の開催	いじめ防止パンフレットの作成・配布、いじめ問題対策連絡協議会の開催		いじめ防止パンフレットの作成・配布、いじめ問題対策連絡協議会の開催	学校教育部 学校教育推進課	◎
			実績	いじめ防止パンフレットを平成28年度新入学児童生徒配付用に作成、いじめ問題対策連絡協議会:2回開催	いじめ防止パンフレットを平成29年度新入学児童生徒配付用に作成、いじめ問題対策連絡協議会:2回開催	いじめ防止パンフレットを平成30年度新入学児童生徒配付用に作成、いじめ問題対策連絡協議会:2回開催	いじめ防止パンフレットを令和元年度新入学児童生徒配付用に作成、いじめ問題対策連絡協議会:2回開催		いじめ防止パンフレットを令和元年度新入学児童生徒配付用に作成、いじめ問題対策連絡協議会:2回開催、いじめ防止対策委員会:2回開催		
(2)	人権啓発推進事業	すべての人の人権が尊重され、相互に共存できる社会の実現のために、人権意識の高揚に努めます。	計画	記念事業開催、啓発活動実施、研修会開催	記念事業開催、啓発活動実施、研修会開催	記念事業開催、啓発活動実施、研修会開催	記念事業開催、啓発活動実施、研修会開催	・記念事業開催:1回 ・啓発活動実施:6回	市民部 男女共同参画課	◎	
			実績	記念事業開催、啓発活動実施、研修会開催	記念事業開催、啓発活動実施、研修会開催	記念事業開催、啓発活動実施、研修会開催	・記念事業開催:1回 ・啓発活動実施:7回	11講座開催			
施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）								R01 評価			
基本施策 1 学校教育の充実			事業量				担当課				
施策の方向 1 特色ある学校づくりと教育活動の推進			27年度	28年度	29年度	30年度			元年度		
(1)	スーパーティーチャー（教科専門員）派遣事業	専門的な知識や技術を持ったスーパーティーチャー（教科専門員）を教科に精通した教員のいない小中学校に派遣し、学習指導の充実を図る。	計画	5名配置	5名配置	5名配置	5名配置	5名配置	学校教育部 学校教育推進課	○	
			実績	5名配置	5名配置	5名配置	5名配置	4名配置			

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）				事業量					担当課	R01 評価
基本施策 1 学校教育の充実				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
施策の方向 1 特色ある学校づくりと教育活動の推進										
(2)	複式学級解消事業	複式学級を有する小学校に非常勤講師を配置し、学年ごとにきめ細かい学習指導の充実を図る。	計画	14名配置	15名配置	15名配置	12名配置	12名配置	学校教育部 学校教育推進課	○
			実績	14名配置	15名配置	15名配置	12名配置	11名配置		
(3)	郡山市私立幼稚園教職員研修費補助事業	私立幼稚園の教職員研修を実施している郡山市私立幼稚園協会に対して、研修会に要する経費の一部を補助する。	計画	実施	実施	実施	実施	実施	こども部 こども育成課	◎
			実績	実施	実施	実施	実施	実施		
(4)	小中学校英語教育推進事業	語学指導外国人を小・中学校に派遣又は配置するとともに、日本人教員の指導力の向上を図り、児童生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。	計画	児童・教師用副読本等の作成、NT5名・AET21名配置	児童・教師用副読本等作成、NT5名・AET21名配置	児童・教師用副読本等作成、NT5名・AET21名配置	児童・教師用副読本等作成、NT5名・AET23名配置	児童・教師用副読本等作成、NT5名・AET25名配置	学校教育部 学校教育推進課	◎
			実績	児童・教師用副読本等を作成、NT5名・AET21名配置	児童・教師用副読本等作成、NT5名・AET21名配置	児童・教師用副読本等作成、NT5名・AET21名配置	児童・教師用副読本等作成、NT5名・AET23名配置	児童・教師用副読本等作成、NT4名・AET26名配置		
(5)	国際化推進人材育成事業 【平成31年度まで国、県で同様の研修を行うため、一旦休止。平成32年度再開予定事業終了】	国際人として活躍しうる人物の育成を目的に、市の施設や英語研修施設を利用して英語体験研修を実施し、高度なコミュニケーション能力や国際人としての感覚を磨く。	計画	教員のための郡山市国際人スキルアップ研修の実施	教員のための郡山市国際人スキルアップ研修：基礎編3回、発展編4回開催	休止			学校教育部 学校教育推進課	-
			実績	研修：5回開催、各回26名参加	研修：5回開催、各回26名参加					
(6)	30人程度学級編制事業	義務教育に関する地方の自由度拡大など教育における地方分権の推進を図るため、各学校の実態や地域の実情を踏まえつつ、30人程度学級の導入による少人数学級の拡大を図る。	計画	30人程度学級又は少人数指導等少人数教育の推進	30人程度学級又は少人数指導等少人数教育の推進	30人程度学級又は少人数指導等少人数教育の推進	30人程度学級又は少人数指導等少人数教育の推進	30人程度学級又は少人数指導等少人数教育の推進	学校教育部 学校管理課	◎
			実績	個に応じた指導の充実 小学校：31校、中学校：20校	個に応じた指導の充実 小学校：29校、中学校：22校	個に応じた指導の充実 小学校：28校、中学校：19校	個に応じた指導の充実 小学校：26校、中学校18校 義務教育学校：1校	個に応じた指導の充実 小学校：26校、中学校18校 義務教育学校：1校		
(7)	学校評議員制度	学校運営に保護者や地域住民の参画を求め、地域に根ざした学校教育の充実を図る。	計画	各学校の計画による	各学校の計画による	各学校の計画による	各学校の計画による	各学校の計画による	学校教育部 学校管理課	◎
			実績	学校運営の充実 小学校：455名、中学校：225名	学校運営の充実 小学校：451名、中学校：216名	学校運営の充実 小学校：447名、中学校：228名	学校運営の充実 小学校402名、中学校：222名	学校運営の充実 小学校381名、中学校：210名		
(8)	地域教材の制作及び教育情報の提供	市立学校の授業で使用するための教材として、郡山市に関する歴史、産業、文化、理科などのデータを教材化し、市立学校へWeb配信する。	計画	教材作成委員会の開催（年12回）	教材作成委員会の開催（年12回）	教材作成委員会の開催（年12回）	教材作成委員会の開催（年12回）	教材作成委員会の開催（年12回）	学校教育部 教育研修センター	○
			実績	12回実施、「こおりやま学習デジタル大百科」の配信	12回実施、「こおりやま学習デジタル大百科」の配信	12回実施、「こおりやま学習デジタル大百科」の配信	12回実施、「こおりやま学習デジタル大百科」の配信	12回実施、「こおりやま学習デジタル大百科」の配信		
(9)	理科教育設備整備事業	理科教育の振興を図るため、小中学校の理科教育設備の整備を行います。	計画	小中学校理科教育備品の整備 小学校：10校、中学校：10校	小中学校理科教育備品の整備 小学校：10校、中学校：10校	小中学校理科教育備品の整備 小学校10校、中学校10校	小中学校理科教育備品の整備 小学校10校、中学校10校	小中学校理科教育備品の整備 小学校10校、中学校10校	学校教育部 学校管理課	◎
			実績	小中学校理科教育備品の整備 小学校：10校、中学校：10校	小中学校理科教育備品の整備 小学校10校、中学校10校	小中学校理科教育備品の整備 小学校10校、中学校10校	小中学校理科教育備品の整備 小学校10校、中学校10校	小中学校理科教育備品の整備 小学校10校、中学校10校		
(10)	学力向上支援事業	児童生徒一人一人の「確かな学力」の育成と教員の指導力向上を目指し、教員のための学力向上支援事業全体会議を開催し、「学びの型」の定着による児童生徒の学力向上を図ります。	計画	・全体会議の開催 ・全国学力テストの分析と改善策立案	・全体会議の開催 ・講演会の開催	・全体会議の開催 ・講演会の開催	・全体会議の開催 ・講演会の開催	・全体会議の開催 ・講演会の開催	学校教育部 学校教育推進課	◎
			実績	全体会議：2回開催 学力向上に関する講演会開催	全体会議：2回開催 学力向上に関する講演会開催	全体会議：2回開催 学力向上に関する講演会開催	全体会議：2回開催 学力向上に関する講演会開催	全体会議：2回開催 学力向上に関する研修・協議会開催		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）				事業量					担当課	R01 評価
基本施策 1 学校教育の充実				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
施策の方向 1 特色ある学校づくりと教育活動の推進				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(11)	教育内容・方法の充実事業 （郷土を学ぶ体験学習事業）	郷土の歴史や文化を学ぶ体験学習や、資料の活用を通して、郷土愛を醸成するとともに、先人の培った文化を理解し、尊重する心を育みます。	計画	小学校の補助教材の改訂体験活動の実施	中学校の補助教材の改訂体験活動の実施	小学校の補助教材の改訂体験活動の実施	中学校の補助教材の改訂体験活動の実施	小学校の補助教材の改訂体験活動の実施	学校教育部 学校教育推進課	◎
			実績	小学校の補助教材を改訂した体験活動を実施した	小学校の補助教材を改訂した体験活動を実施した	小学校の補助教材を改訂した体験活動を実施した	中学校の補助教材を改訂した体験活動を実施した	小学校の補助教材を改訂した体験活動を実施した		
(12)	美しい日本語を学ぶ事業 【事業見直しにより平成27年度で事業終了】	詩、小説、古典などの優れた作品に触れ、日本語の美しさを再発見する機会とするとともに、美的感性や思いやり、郷土愛など日本人としての誇りや情緒豊かな心の育成を図ります。	計画	美しい日本語表現コンテストの実施	完了				学校教育部 学校教育推進課	-
			実績	美しい日本語表現コンテストの実施						
(13)	学校司書支援事業	子どもの読書環境向上のため、小中学校PTAが雇用する学校司書に要する経費の一部を補助します。また、学校司書の資質向上を図るため、資質向上研修会を開催する。	計画	学校司書給与費等補助及び研修会開催 小学校:46校、中学校:28校	学校司書給与費等補助 小学校:47校、中学校:28校 研修会開催	学校司書給与費等補助 小学校:48校、中学校:28校 研修会開催	学校司書給与費等補助 小学校:49校、中学校:28校 研修会開催	学校司書給与費等補助 小学校:48校、中学校:28校 研修会開催	学校教育部 学校管理課	◎
			実績	学校司書給与費等補助 小学校:46校、中学校:28校 研修会開催	学校司書給与費等補助 小学校:47校、中学校:28校 研修会開催	学校司書給与費等補助 小学校:48校、中学校:28校 研修会開催	学校司書給与費等補助 小学校:49校、中学校:28校 研修会開催	学校司書給与費等補助 小学校:48校、中学校:28校 研修会開催		
施策の方向 2 教育施設と設備の充実				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1)	タブレット端末導入事業 【「未来を拓く教育の情報化推進事業」へ統合】	児童生徒の情報活用能力の育成や個に応じた学習の充実を図るため、すべての市立小中学校へタブレット端末を導入する。	計画	すべての市立小中学校へ1学級分のタブレット端末等を整備する。	統合				学校教育部 教育研修センター	-
			実績	小学校58校に1,618台、中学校28校に899台整備						
(2)	未来を拓く教育の情報化推進事業	市立学校の児童生徒がコンピュータやインターネットを活用できる環境整備を進め、児童生徒の情報活用能力や学力の向上を図る。	計画	-	タブレット端末を大規模小学校3校に各35台、特別支援学級に在籍する児童生徒に1人1台整備する。	中学校PCリース更新、中学校サーバ集約、市立学校を10Mbpsから100Mbpsへ増強	小学校PCリース更新、タブレット端末を大規模小学校3校に各35台整備、全校のCMSの契約の更新	セルラー型タブレット端末を大規模小学校12校に各35台整備	学校教育部 教育研修センター	○
			実績	-	タブレット端末を大規模小学校3校に各35台計105台、特別支援学級に在籍する児童生徒に1人1台計570台整備	中学校PC1,683台をリース更新、中学校サーバを市役所に集約、市立学校を10Mbpsから100Mbpsへ増強	中学校PC270台をリース更新、タブレット端末を大規模小学校3校に各35台整備、全校のCMSの契約の更新	セルラー型タブレット端末を小学校に3,052台整備、ICT支援員を4校に配置。		
(3)	小中学校教育環境整備事業	教育環境の整備充実を図るため、老朽化備品等の更新や修繕を計画的に進める。	計画	・放送機器、耐火書庫等の更新:小学校7校、中学校7校・特別教室机椅子更新:小学校1校、中学校4校	・カーテン、耐火書庫等の更新:小学校4校、中学校1校・特別教室机椅子更新:小学校1校、中学校2校	・放送機器、暗幕等の更新:小学校3校、中学校1校・特別教室机椅子更新:小学校2校、中学校1校	カーテン、校内放送機器、暗幕等の更新:小学校2校、中学校3校	カーテン、放送機器、暗幕等の更新:小学校7校、中学校8校・特別教室机椅子更新:小学校1校、中学校3校	学校教育部 学校管理課	◎
			実績	・放送機器、耐火書庫等の更新:小学校7校、中学校7校・特別教室机椅子更新:小学校1校、中学校4校	・カーテン、耐火書庫等の更新:小学校4校、中学校1校・特別教室机椅子更新:小学校1校、中学校2校	・放送機器、暗幕等の更新:小学校4校、中学校1校・特別教室机椅子更新:小学校1校、中学校1校	カーテン、放送機器、暗幕等の更新:小学校12校、中学校6校	カーテン、放送機器、暗幕等の更新:小学校9校、中学校14校		
(4)	夢、学びが広がる情報教育推進事業 【「未来を拓く教育の情報化推進事業」へ統合】	教育用コンピュータのソフトウェアを充実させることにより、児童生徒の情報活用能力の育成や学習意欲の向上を図る。	計画	CMSの全校配備と小学校の教科書改訂に応じてデジタル教科書を更新	統合				学校教育部 教育研修センター	-
			実績	小学校:58校、中学校:28校にCMS及びデジタル教科書を整備						
(5)	小中学校空調設備整備事業 【全小中学校への整備が完了したことから平成27年度で事業終了】	児童生徒の学習環境のさらなる向上と地域拠点である学校施設の機能充実を図るとともに、他の自治体に避難している子どもたちの帰還促進のため、小中学校に空調設備を整備する。	計画	小学校:61校 中学校:28校	完了				教育総務部 総務課	-
			実績	全小中学校で普通教室・特別教室等への空調設備の整備完了						

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）				事業量					担当課	R01 評価
基本施策 1 学校教育の充実				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
施策の方向 2 教育施設と設備の充実										
(6)	小中学校施設環境整備事業	老朽化した学校施設の改修や社会環境の変化等に対応するための改修を計画的かつ継続的に行うことにより、児童生徒の安全を確保するとともに、教育環境の充実を図る。	計画	小学校:30件 中学校:22件	小学校:16件 中学校:15件	小学校:26件 中学校:9件	小学校:41件 中学校:24件	小学校:32件 中学校:18件	教育総務部 総務課	○
			実績	小学校:53件 中学校:44件	小学校:16件 中学校:15件	小学校:29件 中学校:10件	小学校:35件 中学校:21件	小学校:26件 中学校:16件		
(7)	小中学校施設増改築事業	老朽化した小中学校プール施設の改築を行うとともに、教室不足や老朽化した施設を解消するため、校舎及び屋内運動場の増改築を行い、子どもたちの良好な教育環境を整備する。	計画	0校	工事:小学校1校 実施設計:小学校1校	工事:小学校1校	0校	0校	教育総務部 総務課	◎
			実績	工事:中学校1校 実施設計:小学校1校	工事:小学校1校 実施設計:小学校1校	工事:小学校1校	0校	0校		
(8)	小中学校長寿命化改修事業 （小中学校大規模改造事業から名称変更）	校舎・屋内運動場等の老朽化対策として、施設の適正規模・適正配置を踏まえた長寿命化改修を行い、安全・安心な学校で快適に学ぶことができる環境づくりを進める。	計画	小学校:2校 中学校:1校	中学校:1校	実施設計:小学校1校	実施設計:小学校2校 工事:小学校1校	実施設計:小学校1校 工事:小学校3校	教育総務部 総務課	◎
			実績	小学校:2校 中学校:1校	中学校:1校	実施設計:小学校1校	実施設計:小学校2校 工事:小学校1校	実施設計:小学校1校 工事:小学校3校		
(9)	小中学校耐震補強事業	小中学校施設の耐震性を確保するため、校舎及び屋内運動場の耐震補強工事等を行い、安全・安心な学校で快適に学ぶことができる環境づくりを進める。	計画	校舎:小学校6校、中学校7校 屋内運動場:小学校13校、中学校1校	校舎:小学校1校、中学校1校 屋内運動場:小学校10校、中学校2校	屋内運動場:小学校5校、中学校4校	完了		教育総務部 総務課	-
			実績	校舎:小学校6校、中学校7校 屋内運動場:小学校13校、中学校1校	校舎:小学校1校、中学校1校 屋内運動場:小学校9校、中学校2校	屋内運動場:小学校5校、中学校4校				
(10)	郡山市私立幼稚園施設整備費補助事業 【再掲】	老朽化等による園舎の増改築事業の助成を行い、私立幼稚園の教育環境の向上を図る。	計画	なし	なし	なし	なし	なし	こども部 こども育成課	×
			実績	なし	なし	なし	なし	なし		
(11)	小中学校給食施設・設備整備事業	安全・安心な学校給食を提供するため、自校給食校の施設・設備の整備を実施する。	計画	自校給食校の施設・設備の整備	自校給食校の施設・設備の整備	自校給食校の施設・設備の整備	自校給食校の施設・設備の整備	自校給食校の施設・設備の整備	学校教育部 学校管理課	○
			実績	老朽化に伴う備品の更新(工事を伴うもの):7件	老朽化に伴う備品の更新(工事を伴うもの):6件	老朽化に伴う備品の更新(工事を伴うもの):3件	老朽化に伴う備品の更新(工事を伴うもの):8件	老朽化に伴う備品の更新(工事を伴うもの):11件		
(12)	視聴覚教材整備事業	視聴覚教材（ビデオ・DVD作品等）を揃え、視聴覚教材の団体貸出とこども映画会を通して学校教育、特に視聴覚教育に寄与する。	計画	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	教育総務部 中央図書館	◎
			実績	視聴覚教材団体貸出数:461件、こども映画会:38回開催 参加人数:延べ1,283人	視聴覚教材団体貸出数:386件、こども映画会:11回開催 参加人数:延べ539人	視聴覚教材団体貸出数:213件、こども映画会:11回開催 参加人数:延べ657人	視聴覚教材団体貸出数:347件、こども映画会:12回開催 参加人数:延べ702人	視聴覚教材団体貸出数:200件、こども映画会:14回開催 参加人数:延べ826人		
(13)	西田学園義務教育学校整備事業 （（仮称）西田小学校建設事業から名称変更）	多様化及び弾力化のある義務教育を実践するため、地区内の小学校（5校）と中学校を統合し、西田中学校との一体的な施設として西田学園義務教育学校を整備する。	計画	学校建設調査設計	敷地造成工事、校舎・屋内運動場、屋内プール建設工事、中学校校舎大規模改造工事	敷地造成工事、校舎・屋内運動場、屋内プール建設工事、中学校校舎大規模改造工事	完了		教育総務部 総務課	-
			実績	地質調査、敷地造成・建物実施設計	敷地造成工事、校舎・屋内運動場、屋内プール建設工事、中学校校舎大規模改造工事	敷地造成工事、校舎・屋内運動場、屋内プール建設工事、中学校校舎大規模改造工事				

令和元年度事業実績

【凡例】

◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）								R01 評価
基本施策 1 学校教育の充実		事業量					担当課	
施策の方向 3 幼・保・小連携の推進		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1)	幼保小連携推進事業【再掲】	幼児の生活や発達の連続性を踏まえ、就学前後の円滑な接続を図るため、幼稚園・保育所・小学校の連携強化を推進する。	計画 合同研修会:5回 相互授業参観:15回 実績 合同研修会:5回 相互授業参観:14回	合同研修会:5回 相互授業参観:14回	合同研修会:5回 相互授業参観:14回	合同研修会:5回 相互授業参観:14回	合同研修会:5回 相互授業参観:15回	◎
施策の方向 4 特別支援教育の充実			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	
(1)	小中学校特別支援教育派遣事業	小中学校において支援を要する児童生徒の学校生活を支援し、学習指導体制の充実を図る。	計画 非常勤の支援員を配置、特別支援教育補助員:44名、学校生活支援員:7名 実績 特別支援教育補助員:44名、学校生活支援員:7名を配置	特別支援教育補助員:嘱託職員47名、臨時職員27名配置 学校生活支援員:嘱託職員4名、臨時職員3名配置	特別支援教育補助員:嘱託職員45名、臨時職員30名配置 学校生活支援員:嘱託職員6名	特別支援教育補助員:嘱託職員48名、臨時職員30名配置 学校生活支援員:嘱託職員6名	特別支援教育補助員:嘱託職員51名、臨時職員30名配置 学校生活支援員:嘱託職員6名	◎
(2)	特別支援教育相談	LD、ADHD等、特別な教育的な支援を必要とする児童・生徒への支援、障がいのある児童・生徒への就学援助や学校不適応問題の未然防止や早期解決を図るため、特別支援教育相談、就学相談を行う。	計画 特別支援教育相談会の開催、就学相談の実施 実績 計画通り実施	特別支援教育相談会の開催、就学相談の実施 計画通り実施	特別支援教育相談会の開催、就学相談の実施 計画通り実施	特別支援教育相談会の開催、就学相談の実施 特別支援教育相談会:2回 就学相談会:3回	特別支援教育相談会の開催、就学相談の実施 特別支援教育相談会:2回 就学相談会:3回	◎
(3)	教育支援委員会	校内就学指導の進め方について研修するとともに、心身障がい児の判定及び教育的措置を講じ、円滑な就学指導の充実を図る。	計画 市教育支援委員会、校内教育支援研修会の開催 実績 委員会:5回開催 研修会:1回開催	市教育支援委員会、校内教育支援研修会の開催 委員会:5回開催 研修会:1回開催	市教育支援委員会、校内教育支援研修会の開催 委員会:5回開催 研修会:1回開催	市教育支援委員会、校内教育支援研修会の開催 市教育支援委員会5回 校内教育支援研修会1回	市教育支援委員会、校内教育支援研修会の開催 市教育支援委員会4回 校内教育支援研修会1回	◎
施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）								R01 評価
基本施策 2 青少年の健全育成と家庭教育の充実		事業量					担当課	
施策の方向 1 家庭教育に関する学習機会や交流の場の提供		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1)	地域のびのび子育て支援事業	少子化・核家族化等で孤立しがちな親子の居場所づくりと子育ての不安解消を図るための情報を提供するとともに、子育てサポーターの養成を行う。また、中央公民館託児室を始め、各公民館のスペースを子育て中の親子に開放し、地域住民とのふれあいの場を提供する。	計画 のびのび子育て広場:2会場、各12回、各公民館スペース開放、子育てサポーター:12名設置 実績 のびのび子育て広場:2会場各12回、延べ参加人数972人、各公民館スペース開放:延べ参加人数903人、子育てサポーター:14名設置	のびのび子育て広場:2会場、各12回、各公民館スペース開放、子育てサポーター:20名設置 のびのび子育て広場:3会場各12回、延べ参加人数1,446人、各公民館スペース開放:延べ参加人数1,105人、子育てサポーター:18名設置	のびのび子育て広場:3会場、各12回、各公民館スペース開放、子育てサポーター:15名設置 のびのび子育て広場:3会場各14回、延べ参加人数1,424人、各公民館スペース開放:延べ参加人数860人（託児室開放と併せて2,526人）、子育てサポーター:13名設置	のびのび子育て広場:3会場、各14回、各公民館スペース開放、子育てサポーター:15名設置 のびのび子育て広場:3会場各13回、各公民館スペース開放:延べ参加人数855人、子育てサポーター:14名	のびのび子育て広場:3会場、各14回、各公民館スペース開放、子育てサポーター:15名設置 のびのび子育て広場:3会場各13回、延べ参加人数1,598人、各公民館スペース開放:延べ参加人数611人、子育てサポーター:13名設置	◎
(2)	家庭教育充実事業	保護者等が子どもたちの発達段階に応じた行動や考え方を理解し、子どもたちの健全な人格形成を図るため、家庭教育に関する学習会等を開催する。	計画 1家庭教育学級生合同学習会:1回、2家庭教育講演会:1回、3就学前子育て講座:小学校58校、4企業を支える親学び講座:5回、5子育て応援カレンダーの作成配布 実績 1家庭教育学級生合同学習会:1回、2家庭教育講演会:1回、3就学前子育て講座:小学校58校、4企業を支える親学び講座:4回、5子育て応援カレンダー:8,000部配布	1家庭教育学級生合同学習会:1回、2家庭教育講演会:1回、3就学前子育て講座:小学校58校、4企業を支える親学び講座:5回、5子育て応援カレンダーの作成配布 1家庭教育学級生合同学習会:1回、2家庭教育講演会:1回、3就学前子育て講座:小学校55校、4企業を支える親学び講座:4回、5子育て応援カレンダー:8,000部配布	1家庭教育学級生合同学習会:1回、2家庭教育講演会:1回、3就学前子育て講座:小学校58校、4企業を支える親学び講座:5回、5子育て応援カレンダーの作成配布 1家庭教育学級生合同学習会:1回、2家庭教育講演会:1回、3就学前子育て講座:小学校55校、4企業を支える親学び講座:4回、5子育て応援カレンダー:8,000部配布	家庭教育学級生合同学習会:1回、家庭教育講演会:1回、就学前子育て講座:小学校51・義務教育学校1、企業を支える親学び講座:5、子育て応援カレンダーの配布 家庭教育学級生合同学習会:1回、家庭教育講演会:1回、就学前子育て講座:小学校45、企業を支える親学び講座:3、子育て応援カレンダー:8,000部配布	家庭教育学級生合同学習会:1回、家庭教育講演会:1回、就学前子育て講座:小学校41、企業を支える親学び講座:1、子育て応援カレンダー:8,000部配布	◎
(3)	家庭教育学級事業	家庭の教育力の向上と家庭・学校・地域（公民館）の連携強化の機会として、各小・中学校に家庭教育学級を開設する。	計画 全小中学校 実績 全小中学校で開催	全小中学校	全小中学校	全学校（上伊豆島小を除く）	全学校	◎
(4)	子どもの学習支援	「貧困の連鎖」を解消するための手段の一つとして、将来の進路選択を広げ社会的自立を促すため市内在住の生活保護受給世帯又は生活困窮世帯の小・中学生を対象に、苦手科目の克服や高校受験に向けた学習会を開催する。	計画 年45回（原則毎週土曜日） 実績 実施回数:45回 参加者:22名	年45回（原則毎週土曜日） 実施回数:45回 参加者:17名	年45回（原則毎週土曜日） 実施回数:45回 参加者:25名	年45回（原則毎週土曜日） 教室型:45回、16名 通信添削型:25回、7名	教室型:年45回 通信添削型:年25回 教室型:45回、23名 通信添削型:25回、10名	◎

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）				事業量					担当課	R01 評価	
基本施策 2 青少年の健全育成と家庭教育の充実				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
施策の方向 2 青少年活動支援と環境づくり											
(1) 郡山市こどもまつり (2) 青少年の国内交流事業 (3) ジュニアリーダー育成事業 (4) 郡山市青少年健全育成推進協議会活動費助成事業 (5) 青少年団体育成事業 (6) 青少年の奉仕活動等体験活動推進事業	5月5日のこどもの日に、本市の将来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、子どもたちの思い出に残るイベントを開催する。	計画 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	こども部 こども未来課	◎	
	各種イベント及びコーナー実施 コーナー数:36、入場者数:約33,000人	各種イベント及びコーナー実施 コーナー数:36、入場者数:約34,000人	各種イベント及びコーナー実施 コーナー数:34、入場者数:約35,000人	各種イベント及びコーナー実施 コーナー数:37、入場者数:約35,000人	各種イベント及びコーナー実施 コーナー数:41、入場者数:約29,000人						
	青少年に様々な交流・体験学習の機会を与えるため、姉妹都市である久留米市及び奈良市との親善交流を実施する。	計画 久留米市青少年親善交流 奈良市青少年交流	久留米市交流(受入れ) 奈良市交流(派遣)	久留米市交流(派遣)	久留米市交流(受入れ)	久留米市交流(派遣)	久留米市交流(受入れ)	久留米市交流(派遣)	久留米市交流(派遣):18名	こども部 こども未来課	◎
	久留米市交流(派遣):33名 奈良市交流(受入れ):42名	久留米市交流(受入れ):18名	久留米市交流(派遣):16名	久留米市交流(受入れ):16名	久留米市交流(派遣):18名						
	地域活動や社会参加活動に積極的に取り組むことのできるジュニアリーダーの育成をさらに推進するため、育成環境の改善や人材の育成と、当該事業の推進を図る。	計画 年3回実施	中級指導者研修会(事前研修、本研修、事後研修)	中級指導者研修会(事前研修、本研修、事後研修)	中級指導者研修会(事前研修、本研修、事後研修)	中級指導者研修会(事前研修、本研修、事後研修)	ジュニアリーダー研修会(事前研修、本研修、事後研修)	中級指導者研修会(事前研修、本研修、事後研修)	中級指導者研修会(事前研修、本研修、事後研修) 参加者数:17名	こども部 こども未来課	◎
	中級指導者研修会(事前研修、本研修、事後研修) 参加者数:12名	中級指導者研修会(事前研修、本研修、事後研修) 参加者数:25名	中級指導者研修会(事前研修、本研修、事後研修) 参加者数:14名	中級指導者研修会(事前研修、本研修、事後研修) 参加者数:13名	中級指導者研修会(事前研修、本研修、事後研修) 参加者数:17名						
地区協議会(34地区)に対する活動費補助、健全育成推進大会の開催等を行う。	計画 実施	活動費補助の実施 健全育成推進大会、少年の主張の実施等	活動費補助の実施 健全育成推進大会、少年の主張の実施等	活動費補助の実施 健全育成推進大会、少年の主張の実施等	活動費補助の実施 健全育成推進大会、少年の主張の実施等	活動費補助の実施 健全育成推進大会、少年の主張の実施等	活動費補助の実施 健全育成推進大会、少年の主張の実施等	活動費補助の実施:34地区 推進大会参加者:約500名 少年の主張参加者:約250名	こども部 こども未来課	◎	
活動費補助の実施:34地区 推進大会参加者:約600名 少年の主張参加者:約250名	活動費補助の実施:34地区 推進大会参加者:約500名 少年の主張参加者:約300名	活動費補助の実施:34地区 推進大会参加者:約500名 少年の主張参加者:約300名	活動費補助の実施:34地区 推進大会参加者:約500名 少年の主張参加者:約300名	活動費補助の実施:34地区 推進大会参加者:約500名 少年の主張参加者:約300名							
郡山市子ども会育成連絡協議会をはじめ青少年団体に対する事業活動費補助を行う。	計画 3団体	3団体	3団体	3団体	2団体	こども部 こども未来課	◎				
補助団体:3団体 補助金額:610千円	補助団体:3団体 補助金額:610千円	補助団体:3団体 補助金額:610千円	補助団体:3団体 補助金額:610千円	補助団体:2団体 補助金額:520千円							
青少年がボランティア活動の体験を通じ、豊かな人間性や社会性を培うため、様々な活動の場を提供する。	計画 ①こどもまつり各コーナー運営補助 ②イベント・施設等補助活動	①こどもまつり各コーナー運営補助 ②イベント・施設等補助活動	①こどもまつり各コーナー運営補助 ②イベント・施設等補助活動	①こどもまつり各コーナー運営補助 ②イベント・施設等補助活動	①こどもまつり各コーナー運営補助 ②イベント・施設等補助活動	こども部 こども未来課	◎				
①1,414名 ②2,122名	①1,360名 ②2,107名	①312名 ②104名	①356名 ②71名	①356名 ②64名							

施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）				事業量					担当課	R01 評価
基本施策 2 青少年の健全育成と家庭教育の充実				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
施策の方向 3 地域活動・体験活動の充実										
(1) 地域を生かした教育環境パワーアップ事業 (2) 子ども読書活動推進事業	学校内の教育活動や、土曜日等の休日や長期休業日の学校外における諸活動に、地域や民間の人材を積極的に活用することにより、子どもたちの学びの環境の充実を図るとともに、学校と地域の互恵関係を生み出し、地域の教育力の向上や地域の方の生きがいづくり、地域コミュニティーの充実等を図る。	計画 ・地域人材を活用した授業等の実施 ・土曜日等における学校外での学習支援 ・コーディネーターの配置	・地域人材を活用した授業等の実施 ・土曜日等における学校外での学習支援 ・コーディネーターの配置	・地域人材を活用した授業等の実施 ・土曜日等における学校外での学習支援 ・コーディネーターの配置	・地域人材を活用した授業等の実施 ・土曜日等における学校外での学習支援 ・コーディネーターの配置	・地域人材を活用した授業等の実施 ・土曜日等における学校外での学習支援 ・コーディネーターの配置	・地域人材を活用した授業等の実施 ・土曜日等における学校外での学習支援 ・コーディネーターの配置	・地域人材を活用した授業等の実施 ・土曜日等における学校外での学習支援 ・コーディネーターの配置	学校教育部 学校教育推進課	◎
	講師:延べ1,406名 学校外講師:延べ675名 コーディネーター:40名を配置した	講師:延べ1,280名 学校外講師:延べ621名 コーディネーター:40名を配置した	講師:延べ1,302名 学校外講師:延べ605名 コーディネーター:41名を配置した	講師:延べ1,081名 学校外講師:延べ572名 コーディネーター:44名を配置した	講師:延べ998名 学校外講師:延べ536名 コーディネーター:44名を配置した					
子どもの健やかな成長を図るため、第三次郡山市子ども読書活動推進計画に基づき、年齢別おはなし会や「おすすめする本」の作成等を実施する。	計画 年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	教育総務部 中央図書館	◎			
・年272回、参加人数:3,407人 ・小学校5・6年生向けリスト作成	・年226回、参加人数:3,145人 ・小学校5・6年生向けリスト作成	・年242回、参加人数:3,553人 ・小学校1・2年生向けリスト作成	・年274回、参加人数:3,926人 ・小学校3・4年生向けリスト作成	・年208回、参加人数:2,649人 ・小学校5・6年生向けリスト作成						

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）								R01 評価		
基本施策 2 青少年の健全育成と家庭教育の充実				事業量						
施策の方向 3 地域活動・体験活動の充実				27年度	28年度	29年度	30年度		元年度	担当課
(3)	環境学習推進事業	将来を担う子どもたちの環境意識を高めるため、こどもエコクラブ活動の支援や生活排水対策など環境学習の支援等を行う。	計画 実績	61クラブ、910人 2クラブ、45人	61クラブ、910人 2クラブ、27人	61クラブ、910人 3クラブ、45人	完了		生活環境部 環境政策課	-
(4)	こどものもり公園自然体験事業	当該公園の豊かな自然を生かした自然観察会及び体験学習会を実施し、市民や子供達の自然や環境の保護に対する意識高揚を図る。	計画 実績	こどものもり自然観察会：4回 もりのこクラブ体験学習：6回 こどものもり自然観察会：4回 もりのこクラブ体験学習：6回	こどものもり自然観察会：4回 もりのこクラブ体験学習：6回 こどものもり自然観察会：4回 もりのこクラブ体験学習：6回	こどものもり自然観察会：4回 もりのこクラブ体験学習：6回 こどものもり自然観察会：4回 もりのこクラブ体験学習：6回	こどものもり自然観察会：4回 もりのこクラブ体験学習：6回 こどものもり自然観察会：4回 もりのこクラブ体験学習：6回	こどものもり自然観察会：4回 もりのこクラブ体験学習：6回 星空の観察会：1回 こどものもり自然観察会：4回 もりのこクラブ体験学習：5回 星空の観察会：1回	都市整備部 公園緑地課	○
(5)	のびのび！親子体験事業 【低線量地域での屋外活動を目的としており、その目的を達成したと判断したため事業完了】	恵まれた自然環境の中で、子どもたちののびのびと活動できるよう、湖南地区において、少年湖畔の村を活用した親子の宿泊体験や地域特性を活かしたコマ作り、そば打ち等の体験教室を行う。	計画 実績	①少年湖畔の村の無料開放 ②体験プログラムの実施 ①利用人数：4,505人 ②体験人数：637人	①少年湖畔の村の無料開放 ②体験プログラムの実施 ①利用人数：5,966人 ②体験人数：743人	①少年湖畔の村の無料開放 ②体験プログラムの実施 ①利用人数：6,273人 ②体験人数：595人	①少年湖畔の村の無料開放 ②体験プログラムの実施 ①利用人数：4,351人 ②体験人数：212人	完了	教育総務部 生涯学習課	-
(6)	ふれあい体験農園	市内在住の親子を対象に、農業への理解を深めるため、農業体験及びイベントを開催する。	計画 実績	年4回(100世帯) 年3回(77世帯)	年4回(100世帯) 年4回(78世帯)	年4回(100世帯) 年3回(92世帯) (第4回雨のため中止)	年4回(100世帯) 年4回(104世帯)	年4回(100世帯) 年4回(110世帯)	農林部 園芸畜産振興課	◎
(7)	総合型地域スポーツクラブ事業	いつでも、どこでも、だれもが体力や年齢に応じてスポーツ活動を行うことができる生涯スポーツ環境づくりを推進する	計画 実績	事務連絡会の開催(随時) 各クラブへの活動支援 各クラブへの活動支援	事務連絡会の開催(随時) 各クラブへの活動支援 各クラブへの活動支援	事務連絡会の開催(随時) 各クラブへの活動支援 各クラブへの活動支援	事務連絡会の開催(随時) 各クラブへの活動支援 各クラブへの活動支援	事務連絡会の開催(随時) 各クラブへの活動支援 各クラブへの活動支援	文化スポーツ部 スポーツ振興課	○
(8)	鳥取・郡山 小中学生夏季研修交流事業【別の形式で交流を実施するため令和元年度で事業終了】	姉妹都市である鳥取市と本市の小中学生が、相互訪問により交流し、児童生徒の見聞を広げる。	計画 実績	本市の児童を鳥取市へ派遣し、鳥取市の児童と交流活動を実施 8/3～8/5に鳥取市へ本市から28名の児童が交流事業に参加した	鳥取市の児童を本市へ招き、本市の児童と交流活動を実施 8/1～8/3に本市18名の児童が鳥取市22名の児童を招き、交流事業に参加した	本市の児童を鳥取市へ派遣し、鳥取市の児童と交流活動を実施 8/3～8/5に鳥取市へ本市から28名の児童が交流事業に参加した	鳥取市の児童を本市へ招き、本市の児童と交流活動を実施 7/30～8/1に本市18名の児童が鳥取市22名の児童を招き、交流事業に参加した	本市の児童を鳥取市へ派遣し、鳥取市の児童と交流活動を実施 7/31～8/2に鳥取市へ本市から27名の児童が交流事業に参加した	学校教育部 学校教育推進課	◎
(9)	こおりやま宇宙少年団活動補助金	科学実験等とおして宇宙や科学に対する関心・知識を高めることを目的として活動する日本宇宙少年団こおりやま分団への運営費を助成する。	計画 実績	10万円助成 10万円助成を実施	10万円助成 10万円助成を助成	10万円助成 10万円助成を実施	10万円助成 10万円助成を実施	10万円助成 10万円助成を実施	文化スポーツ部 文化振興課	◎
(10)	文化芸術振興事業	小学生を対象に優れた文化・芸術にふれる機会を提供するため、キッズシアター(演劇鑑賞教室)を開催する。	計画 実績	3日間6回公演 参加校：34校 3日間6回公演 参加校：34校	3日間6回公演 参加校：36校 3日間6回公演 参加校：35校	3日間6回公演 参加校：33校 3日間6回公演 参加校：33校	3日間6回公演 参加校：30校 3日間6回公演 参加校：30校	3日間6回公演 参加校：28校 3日間6回公演 参加校：27校	文化スポーツ部 文化振興課	○
(11)	音楽都市こおりやま 二分の一成人コンサート	市内の小学校4年生を対象に、プロのオーケストラ演奏にふれる機会を提供し、音楽を聴く楽しさ・演奏する楽しさを身近に感じてもらうとともに、公共ホールでの鑑賞マナーを学習してもらうことにより、音楽都市こおりやまの底辺拡大を図る。	計画 実績	市内小学4年生：2,855人 市内小学4年生：2,855人	市内小学4年生：2,783人 市内小学4年生：2,786人	市内小学4年生：2,731人 市内小学4年生：2,729人	市内小学4年生：2,699人 市内小学4年生：2,615人	市内小学4年生：2,686人 市内小学4年生：2,681人	文化スポーツ部 文化振興課	◎

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）										R01 評価	
基本施策 3 居住環境の整備				事業量					担当課		
施策の方向 1 子育て世帯の居住環境の向上				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	市営住宅多子世帯向け優先募集の実施	市営住宅の毎月の空家募集において、3LDK程度の広い部屋の一部を多子世帯向けとして、優先枠で募集する。	計画	多子世帯向け住戸優先枠募集の実施	多子世帯向け住戸優先枠募集の実施	多子世帯向け住戸優先枠募集の実施	多子世帯向け住戸優先枠募集の実施	多子世帯向け住戸優先枠募集の実施	多子世帯向け住戸優先枠募集の実施	建設交通部 住宅政策課	◎
			実績	募集戸数:12戸 申込件数:7件	募集戸数:12戸 申込件数:3件	募集戸数:12戸 申込件数:1件	募集戸数:12戸 申込件数:3件	募集戸数:9戸 申込件数:2件			
			(2)	市営住宅若年子育て世帯向け優先募集の実施	市営住宅の空家募集において、子育て家庭の経済的負担の軽減のため、一部を若年子育て世帯の優先枠で募集する。	計画	若年子育て世帯の優先枠募集の実施	若年子育て世帯の優先枠募集の実施	若年子育て世帯の優先枠募集の実施		
実績	募集戸数:17戸 申込件数:47件	募集戸数:13戸 申込件数:33件				募集戸数:12戸 申込件数:18件	募集戸数:20戸 申込件数:10件	募集戸数:20戸 申込件数:5件			
(3)	市営住宅母子世帯向け優先募集の実施【再掲】	市営住宅の毎月の空家募集において、一部を母子世帯の優先枠で募集する。				計画	母子世帯向け住戸優先枠募集の実施	母子世帯向け住戸優先枠募集の実施	母子世帯向け住戸優先枠募集の実施	母子世帯向け住戸優先枠募集の実施	母子世帯向け住戸優先枠募集の実施
			実績	募集戸数:12戸 申込件数:31件	募集戸数:14戸 申込件数:52件	募集戸数:12戸 申込件数:48件	募集戸数:20戸 申込件数:36件	募集戸数:17戸 申込件数:9件			
			施策の方向 2 居住環境の衛生確保				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
(1)	市営住宅入居者からの相談	市営住宅の居住環境の安全・安心を確保するため、入居者から様々な相談を受け、適切に対応する。	計画	入居者からの様々な相談について、適切に対応する。	入居者からの様々な相談について、適切に対応する。	入居者からの様々な相談について、適切に対応する。	入居者からの様々な相談について、適切に対応する。	入居者からの様々な相談について、適切に対応する。	建設交通部 住宅政策課	◎	
			実績	相談件数:763件	相談件数:783件	相談件数:638件	相談件数:527件	相談件数:333件			
(2)	住居の衛生確保対策の推進	快適な居住環境を確保するため、市民からの居住環境の改善に関する相談や衛生害虫等の防除に関する相談、調査指導、リーフレット等による啓発、市民や建築関係者等を対象とした講習会を開催する。	計画	調査指導:20件 リーフレット作成	住環境・衛生害虫等の相談対応、リーフレット作成	住環境・衛生害虫等の相談対応、リーフレット作成	住環境・衛生害虫等の相談対応、リーフレット作成	住環境・衛生害虫等の相談対応、リーフレット作成	保健福祉部 保健所 生活衛生課	◎	
			実績	衛生害虫等の相談:163件、住環境の調査:1件、貯水槽リーフレット作成	住環境・衛生害虫等の相談:124件、アタマジラミリーフレット作成	住環境・衛生害虫等の相談:152件、貯水槽リーフレット作成	住環境・衛生害虫等の相談:93件、ダニリーフレット作成	住環境・衛生害虫等の相談:47件、飲用井戸リーフレット作成			
施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）										R01 評価	
基本施策 4 都市環境の整備				事業量					担当課		
施策の方向 1 ユニバーサルデザインに配慮した都市環境の整備				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	赤ちゃんニコニコステーション事業	授乳やおむつ替えの設備、キッズスペースを有する公共・民間施設等を広く周知し、乳幼児を持つ家庭が気軽に外出できる環境の整備を進める。 ・新規施設の登録 ・ウェブサイトや子育てハンドブックによる周知	計画	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	こども部 こども未来課	◎	
			実績	登録数:140施設	登録数:153施設	登録数:155施設	登録数:156施設	登録数:154施設			
(2)	児童遊園地整備事業	子どもの安全な遊び場を確保するため、地域の集会所等に設置した遊具の維持管理を行う。	計画	4基修繕 103か所点検	4基修繕 103か所点検	11基修繕 99か所点検	15基修繕 5基撤去 97か所点検	78基撤去 64か所点検	こども部 こども未来課	◎	
			実績	5基修繕 103か所点検	10基修繕 101か所点検	29基修繕 4基撤去 97か所点検	34基撤去 87か所点検	85基撤去 57か所点検			
(3)	交通安全施設整備事業	市民が安心して暮らせる生活環境の実現のため、交通安全施設（カーブミラー等）の整備を実施する。	計画	カーブミラー設置 N=60基	カーブミラー設置 N=100基	カーブミラー設置 N=130基	カーブミラー設置 N=100基	カーブミラー設置 N=50基	建設交通部 道路維持課	◎	
			実績	カーブミラー設置 N=37基	カーブミラー設置 N=88基	カーブミラー設置 N=130基	カーブミラー設置 N=110基	カーブミラー設置 N=54基			

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）				事業量					担当課	R01 評価
基本施策 4 都市環境の整備				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
施策の方向 1 ユニバーサルデザインに配慮した都市環境の整備				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(4)	水路側溝整備事業	市民の快適な生活を実現するため、水路・側溝等の整備を実施する。	計画	側溝等整備 L=7,282m	側溝等整備 L=6,969m	側溝等整備 L=2,060m	側溝等整備 L=6,500m	側溝整備等 L=7,200m	建設交通部 道路維持課	◎
			実績	側溝等整備 L=8,962m	側溝等整備 L=8,398m	側溝等整備 L=7,300m	側溝等整備 L=7,043m	側溝整備等 L=8,579m		
(5)	水辺空間整備事業	河川環境に配慮した、水辺空間を創出するため、河川愛護団体や町内会等の地域住民と一体となり環境整備を行う。	計画	河川愛護団体への助成及び育成河川クリーンアップ作戦の実施	河川愛護団体への助成及び育成河川クリーンアップ作戦の実施	河川愛護団体への助成及び育成河川クリーンアップ作戦の実施	河川愛護団体への助成及び育成河川クリーンアップ作戦の実施	河川愛護団体への助成及び育成河川クリーンアップ作戦の実施	建設交通部 河川課	◎
			実績	河川愛護団体数 N=57団体 河川クリーンアップ作戦 7月5日実施	河川愛護団体数 N=57団体 河川クリーンアップ作戦 7月3日実施	河川愛護団体数 N=60団体 河川クリーンアップ作戦 7月2日実施	河川愛護団体数 N=61団体 河川クリーンアップ作戦 7月1日実施	河川愛護団体数 N=63団体 河川クリーンアップ作戦 7月7日実施		
(6)	公園整備事業	地域住民の憩いの場、活動の場として、日常的な利用に供される都市公園の整備を図る。	計画	都市市緑の基本計画及び区画整理事業との整合性を図りながら公園整備を検討	公園整備1箇所	公園整備2箇所	公園整備1箇所	公園整備1箇所	都市整備部 公園緑地課	◎
			実績	都市市緑の基本計画及び区画整理事業との整合性を図りながら公園整備を検討	公園整備1箇所	公園整備2箇所	公園整備1箇所	公園整備1箇所		
(7)	公園改修事業	老朽化した公園の施設について、「遊具の安全に関する規準」に基づく改修・更新を行い、遊具の安全確保及び公園の快適性の向上を図る。	計画	老朽化した公園及びちびっ子広場の施設改修・更新を検討	公園改修1箇所	公園改修3箇所	公園施設長寿命化計画の策定	公園施設(遊具)改修 2公園 公園施設長寿命化計画の策定	都市整備部 公園緑地課	◎
			実績	老朽化した公園及びちびっ子広場の施設改修・更新を検討	公園改修1箇所	公園改修3箇所	公園施設長寿命化計画の策定	公園施設(遊具)改修 2公園 公園施設長寿命化計画の策定		
(8)	公園トイレ整備事業	老朽化したトイレのユニバーサルデザイン化を進め、施設利用者の利便性の向上を図る。	計画	トイレ改築1か所	トイレ改築2箇所	トイレ改築1箇所	トイレ改築2箇所	トイレ改築1箇所 トイレ一部改修 3箇所	都市整備部 公園緑地課	◎
			実績	トイレ改築1箇所	トイレ改築2箇所	トイレ改築1箇所	トイレ改築2箇所	トイレ改築1箇所 トイレ一部改修 3箇所		
(9)	公園トイレ環境改善事業 【公園トイレ整備事業へ統合】	汲取り式公園トイレを合併処理浄化槽へ改修し、水環境を改善する。	計画	トイレ改築1か所	統合				都市整備部 公園緑地課	-
			実績	トイレ改築1箇所						
(10)	商店街等支援事業 (商店街環境整備事業から名称変更)	組合、商工団体が組合員等のための共同施設や公衆利便施設の設置を行う場合に補助を行う。また、組合、商工団体、街路灯組合が設置する街路灯の電気料に対して補助を行う。	計画	商工街並み整備事業費補助(1団体)、商店街等照アップ事業費補助(61団体)	商工街並み整備事業費補助(5団体)、商店街等照アップ事業費補助(61団体)	商工街並み整備事業費補助(8団体)、商店街等照アップ事業費補助(59団体)	商工街並み整備事業費補助(1団体)、商店街等照アップ事業費補助(60団体)	商工街並み整備事業費補助(3団体)、商店街等照アップ事業費補助(61団体)	産業観光部 産業政策課	◎
			実績	商工街並み整備事業費補助(0団体)、商店街等照アップ事業費補助(60団体)	商工街並み整備事業費補助(3団体)、商店街等照アップ事業費補助(59団体)	商工街並み整備事業費補助(7団体)、商店街等照アップ事業費補助(60団体)	商工街並み整備事業費補助(1団体)、商店街等照アップ事業費補助(60団体)	商工街並み整備事業費補助(2団体)、商店街等照アップ事業費補助(60団体)		
施策の方向 2 心のユニバーサルデザイン				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1)	ユニバーサルデザイン推進事業	UD社会の実現のため、「こおりやまユニバーサルデザイン推進指針」に基づき、市民・市民活動団体・事業者・行政が協働でユニバーサルデザインの推進を図る。	計画	・イベントへの啓発ブース出展 ・UD普及・啓発事業の委託 ・小学校等における出前講座の実施 ・UDサポーターの運営等	・イベントへの啓発ブース出展 ・UD普及・啓発事業の委託 ・小学校等における出前講座の実施 ・UDサポーターの運営等	・イベントへの啓発ブース出展 ・UD普及・啓発事業の委託 ・小学校等における出前講座の実施 ・UDサポーターの運営等	・イベントへの啓発ブース出展 ・UD普及・啓発事業の委託 ・小学校等における出前講座の実施 ・UDサポーターの運営等	・イベントへの啓発ブース出展 ・UD普及・啓発事業の委託 ・小学校等における出前講座の実施 ・UDサポーターの運営等	市民部 市民・NPO活動推進課	◎
			実績	・啓発ブース出展:3件 ・UD普及・啓発事業の委託:9件 ・小学校等における出前講座:9件 ・UDサポーター登録者:9名	・啓発ブース出展:4件 ・UD普及・啓発事業の委託:9件 ・小学校等における出前講座:7件 ・UDサポーター登録者:10名	・イベントへの啓発ブース出展:4件 ・UD普及・啓発事業の委託:9件 ・小学校等における出前講座:8件 ・UDサポーター登録者:9名	・イベントへの啓発ブース出展:3件 ・UD普及・啓発事業の委託:13件 ・小学校等における出前講座:13件 ・UDサポーター登録者:11名	・イベントへの啓発ブース出展:2件 ・UD普及・啓発事業の委託:7件 ・小学校等における出前講座:9件 ・UDサポーター登録者:9名		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）								R01 評価		
基本施策 4 都市環境の整備			事業量						担当課	
施策の方向 2 心のユニバーサルデザイン			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(2)	いじめ防止等啓発事業【再掲】	「郡山市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止リーフレットやいじめ防止啓発ポスター等を活用するなどして、児童生徒の人権意識を高める。	計画	いじめ防止パンフレットの作成、いじめ問題対策連絡協議会の開催	いじめ防止パンフレットの配付・作成、いじめ問題対策連絡協議会の開催	いじめ防止パンフレットの配付・作成、いじめ問題対策連絡協議会の開催	いじめ防止パンフレットの作成・配布、いじめ問題対策連絡協議会の開催	いじめ防止パンフレットの作成・配布、いじめ問題対策連絡協議会の開催	学校教育部 学校教育推進課	◎
			実績	いじめ防止パンフレットを平成28年度新入学児童生徒配付用に作成、いじめ問題対策連絡協議会:2回開催	いじめ防止パンフレットを平成29年度新入学児童生徒配付用に作成、いじめ問題対策連絡協議会:2回開催	いじめ防止パンフレットを平成30年度新入学児童生徒配付用に作成、いじめ問題対策連絡協議会:2回開催	いじめ防止パンフレットを平成31年度新入学児童生徒配付用に作成、いじめ問題対策連絡協議会:2回開催	いじめ防止パンフレットを令和2年度新入学児童生徒配付用に作成、いじめ問題対策連絡協議会:2回開催、いじめ防止対策委員会:2回開催		
(3)	各種講座の実施【再掲】	男女共同参画センター（さんかくプラザ）において実施するジェンダーに敏感な視点の浸透を推進する講座等を通じて、家庭における男女の共同責任と役割分担の意識啓発を図る。	計画	年12講座	年12講座	年12講座	年12講座	年12講座	市民部 男女共同参画課	◎
			実績	12講座開催	12講座開催	年12講座	年12講座	11講座開催		

施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）								R01 評価		
基本施策 5 子どもの安全・安心の確保			事業量						担当課	
施策の方向 1 交通安全教育・環境の充実			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	通学路等の交通安全確保事業	「郡山市通学路交通安全プログラム」に基づき、道路管理者、警察、学校、地域の関係団体が合同で通学路の安全点検を行い、安全対策の継続的な強化を図ることにより、児童生徒を交通事故から守る。	計画	・通学路交通安全推進協議会の開催 ・通学路合同点検の実施	・通学路交通安全推進協議会の開催 ・通学路合同点検の実施	・通学路交通安全推進協議会の開催 ・通学路合同点検の実施	・通学路交通安全推進協議会の開催 ・通学路合同点検の実施	・通学路交通安全推進協議会の開催 ・通学路合同点検の実施	学校教育部 学校教育推進課	◎
			実績	・通学路交通安全推進協議会:2回 ・通学路合同点検:66か所	・通学路交通安全推進協議会:2回 ・通学路合同点検:57か所	・通学路交通安全推進協議会:2回 ・通学路合同点検:86か所	・通学路交通安全推進協議会:2回 ・通学路合同点検:77か所	・通学路交通安全推進協議会:2回 ・通学路合同点検:31か所（新規24か所・再点検7か所）		
(2)	通学路安全対策事業	登下校中の児童を巻き込む、悲惨な交通事故が全国で多発したことを受け、対策工事等により通学路における安全対策の継続的な強化を図る。	計画	37校、73か所（道路維持課） 4校、4か所（道路建設課）	25校、32か所（道路維持課） 4校、4か所（道路建設課）	37校、60か所（道路維持課） 6校、6か所（道路建設課）	39校、52か所（道路維持課） 7校、8か所（道路建設課）	20校、25か所（道路維持課） 7校、9か所（道路建設課）	建設交通部 道路建設課 道路維持課	◎
			実績	26校、54か所（道路維持課） 4校、4か所（道路建設課）	31校、47か所（道路維持課） 4校、4か所（道路建設課）	46校、82か所（道路維持課） 6校、7か所（道路建設課）	39校、68か所（道路維持課） 10校、11か所（道路建設課）	30校、38か所（道路維持課） 12校13か所（道路建設課）		
(3)	交通安全活動事業	交通事故をなくすため、交通安全教室、市民大会を実施するとともに、万が一の交通事故への備えとして、市民交通災害共済の加入促進を図り、交通安全活動団体の活動を支援する。	計画	交通安全教室の開催（幼児80回、小中学生150回）	交通安全教室の開催（幼児80回、小中学生150回）	交通安全教室の開催（幼児80回、小中学生90回）	交通安全教室の開催（幼児80回、小中学生90回）	交通安全教室の開催（幼児80回、小中学生90回）	市民部 セーフコミュニティ課	◎
			実績	交通安全教室の開催（幼児79回、小中学生67回）	交通安全教室の開催（幼児78回、小中学生67回）	交通安全教室の開催（幼児88回、小中学生60回）	交通安全教室の開催（幼児90回、小中学生74回）	交通安全教室の開催（幼児90回、小中学生73回）		
(4)	通学路整備事業【事業計画完了のため、平成30年度で事業終了】	通学路の安全確保のため歩道の整備を行う。	計画	1路線（守山金沢線）	1路線（守山金沢線）	1路線（守山金沢線）	1路線（守山金沢線）	完了	建設交通部 道路建設課	-
			実績	1路線（守山金沢線）	1路線（守山金沢線） ・歩道整備 L = 375m ・橋梁下部工 1基	1路線（守山金沢線） ・道路改良工事 L = 85.5m ・歩道整備 L = 386.0m ・橋梁下部工 1基	1路線（守山金沢線） ・橋梁上部工 1基			

施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）								R01 評価		
基本施策 5 子どもの安全・安心の確保			事業量						担当課	
施策の方向 1 交通安全教育・環境の充実			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(5)	防犯灯設置事業	夜間における安全・安心なまちづくりを進めるため、市道等への防犯灯の設置を進めるとともに、防犯灯の光源をLED灯へ変更するよう推進する。	計画	防犯灯新設:74灯	防犯灯新設:80灯	防犯灯新設:80灯	防犯灯新設:80灯	防犯灯新設:80灯	市民部 セーフコミュニティ課	◎
			実績	防犯灯新設:74灯、ほか寄附20灯新設	防犯灯新設:96灯	防犯灯新設:110灯	防犯灯新設:95灯	防犯灯新設:80灯		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）				事業量					担当課	R01 評価
基本施策 5 子どもの安全・安心の確保				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
施策の方向 1 交通安全教育・環境の充実				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(6)	消費者行政推進事業 （移動消費生活センター事業（出前講座）の実施）	情報機器の普及によるインターネットのトラブルを含む消費者被害防止のため、消費生活に役立つ知識の普及や情報提供を行うことを目的に出前講座を実施する。	計画	申込により随時実施	申込により随時実施	申込により随時実施	申込により随時実施	申込により随時実施	市民部 セーフコミュニティ課	◎
			実績	実施回数 59回 参加者数 2,441人	実施回数 34回 参加者数 1,419人	実施回数 42回 参加者数 2,587人	実施回数 63回 参加者数 2,501人	実施回数 69回 参加者数 4,086人		
			計画	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施		
(7)	事故予防モデルルームにおける啓発 【再掲】	郡山市子ども総合支援センター「ニコニコ子ども館」に事故予防モデルルームを設置し、家庭で発生しやすい事故とその予防方法について周知・啓発する。	計画	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	子ども部 子ども支援課	◎
			実績	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施	年間を通して実施		
(8)	セーフコミュニティ推進事業	セーフコミュニティを中心概念とした協働による安全で安心なまちづくりを推進する。	計画	-	-	-	-	-	市民部 セーフコミュニティ課	◎
			実績	-	-	-	-	-		
施策の方向 2 子どもの犯罪被害や有害環境対策、問題行動への取組				27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
(1)	少年サポートチーム推進事業	学校だけでは解決が困難な問題行動等、生徒指導上の問題に対して、関係機関が連携した少年サポートチーム代表者会を活用し、児童生徒の諸問題の解決や健全育成を図る。また、代表者会と兼ねて「いじめ防止対策推進法」を踏まえた、「いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、いじめ防止対策を総合的に推進する。	計画	関係機関が連携した少年サポートチームを開催し、児童生徒の諸問題に対応する。	関係機関が連携した少年サポートチームを開催し、児童生徒の諸問題に対応する。	関係機関が連携した少年サポートチームを開催し、児童生徒の諸問題に対応する。	関係機関が連携した少年サポートチームを開催し、児童生徒の諸問題に対応する。	関係機関が連携した少年サポートチームを開催し、児童生徒の諸問題に対応する。	学校教育部 学校教育推進課	◎
			実績	少年サポートチーム代表者会議:2回、ケース会議:4回	少年サポートチーム代表者会議:2回、ケース会議:4回	少年サポートチーム代表者会議:2回、ケース会議:4回	少年サポートチーム代表者会議:2回、ケース会議:3回	少年サポートチーム代表者会議:2回、いじめ防止対策委員会:2回、ケース会議:2回		
(2)	児童生徒安全安心推進事業	小学校新入学生への防犯ブザーの配付や、関係機関との連携により、不審者による事件・事故の防止を図る。	計画	・不審者警戒ステッカーの作成、配付 ・小学1年生に防犯ブザーを配付	・不審者警戒ステッカーの作成、配付 ・小学1年生に防犯ブザーを配付	・不審者警戒ステッカーの作成、配付 ・小学1年生に防犯ブザーを配付	・不審者警戒ステッカーの作成、配付 ・小学1年生に防犯ブザーを配付	・不審者警戒ステッカーの作成、配付 ・小学1年生に防犯ブザーを配付	学校教育部 学校教育推進課	◎
			実績	ステッカー作成、配付 平成28年度新入学児童へ防犯ブザーを配布	ステッカー作成、配付 平成29年度新入学児童へ防犯ブザーを配布	ステッカー作成、配付 平成30年度新入学児童へ防犯ブザーを配布	ステッカー作成、配付 平成31年度新入学児童へ防犯ブザーを配布	ステッカー作成、配付 令和2年度新入学児童へ防犯ブザーを配付		
(3)	街頭補導活動事業	青少年の非行防止のため、少年センターを拠点として、1年を通して補導活動を行う。 また、イベント開催時には、特別補導活動を行う。	計画	一般補導:通年実施 特別補導:年10回	一般補導:通年実施 特別補導:年10回	一般補導:通年実施 特別補導:年10回	一般補導:通年実施 特別補導:年10回	一般補導:通年実施 特別補導:年15回	子ども部 子ども未来課	◎
			実績	一般補導:246回 特別補導:年10回	一般補導:252回 特別補導:年10回	一般補導:231回 特別補導:年10回	一般補導:199回 特別補導:年17回	一般補導:196回 特別補導:年15回		
(4)	子どもの薬物乱用防止教室実施事業	薬物乱用の低年齢化を防止するため、薬物に対する正しい知識の普及と乱用防止を図る授業を行う。	計画	小学校:28校	小学校:29校	小学校:28校	小学校:29校	小学校:24校	保健福祉部 保健所 総務課	◎
			実績	小学校:28校 中学校:17校	小学校:29校 中学校:9校	小学校:27校	小学校:29校	小学校:24校		
(5)	郡山市地域パトロール支援事業	自主的に防犯活動を行う団体の活動を支援することにより、地域ぐるみの安全・安心なまちづくりを推進する。	計画	パトロール用品支給(帽子(春夏用):329個、帽子(秋冬用):335個、腕章:174個、信号灯:67灯、ベスト:188着)	パトロール用品支給(帽子(春夏用):450個、帽子(秋冬用):350個、腕章:150個、信号灯:100灯、ベスト:150着)	パトロール用品支給(帽子(春夏用):280個、帽子(秋冬用):260個、腕章:100個、信号灯:60灯、ベスト:140着)	パトロール用品支給(帽子(春夏用):260個、帽子(秋冬用):320個、腕章:150個、信号灯:70灯、ベスト:180着)	パトロール用品支給(帽子(春夏用):260個、帽子(秋冬用):320個、腕章:150個、信号灯:70灯、ベスト:180着)	市民部 セーフコミュニティ課	△
			実績	パトロール用品支給(帽子(春夏用):419個、帽子(秋冬用):374個、腕章:102個、信号灯:67灯、ベスト:131着)	パトロール用品支給(帽子(春夏用):197個、帽子(秋冬用):224個、腕章:107個、信号灯:81灯、ベスト:176着)	パトロール用品支給(帽子(春夏用):187個、帽子(秋冬用):127個、腕章:54個、信号灯:48灯、ベスト:104着)	パトロール用品支給(帽子(春夏用):216個、帽子(秋冬用):220個、腕章:121個、信号灯:42灯、ベスト:125着)	パトロール用品支給(帽子(春夏用):112個、帽子(秋冬用):88個、腕章:56個、信号灯:20灯、ベスト:71着)		

令和元年度事業実績

【凡例】 ◎・・・計画どおり（計画値の100%～91%）実施できた
 ○・・・ほぼ計画どおり（計画値の90%～71%）実施できた
 △・・・遅れている（計画値の70%以下） ×・・・実施していない（0%）

施策領域 5 子育て支援関連施策（教育・生活環境分野）			事業量					担当課	R01 評価	
基本施策 5 子どもの安全・安心の確保			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
施策の方向 2 子どもの犯罪被害や有害環境対策、問題行動への取組										
(6)	スクールカウンセラー配置事業【再掲】	いじめや不登校等の問題行動や児童生徒の悩み等の解決のため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー及びスーパーバイザーを配置し、専門性を高めるための研修を行う。また、学校規模や現場のニーズ等に応じて、担当する学校や1日の勤務時間等の見直しを図る。	計画 実績	全小中学校 相談件数:16,916件	全小中学校 相談件数:15,374件	全小中学校 相談件数:15,523件	全市立学校 相談件数:15,868件	全市立学校 相談件数:16,599件	学校教育部 総合教育支援センター	○
(7)	セーフコミュニティ推進事業【再掲】	セーフコミュニティを中心概念とした協働による安全で安心なまちづくりを推進する。	計画 実績	- -	- -	- -	・説明会、安全・安心の意見交換会開催・セーフコミュニティ推進体制を構築・第3回けがや事故に関する地域診断の実施 ・説明会（職員向けを除く）等の実施 40回 ・推進体制の準備会 19回 ・第3回地域診断の実施	・説明会、安全・安心の意見交換会開催 ・企業との連携強化の推進 ・説明会（職員向けを除く）等の実施 84回 ・セーフコミュニティ活動推進事業所連携事業の登録 25事業所	市民部 セーフコミュニティ課	◎
施策の方向 3 防災教育、施設の防災対策の推進			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度			
(1)	防災啓発事業	防災ハンドブックの活用や親子防災体験事業等により、防災知識の普及啓発を図り、全市一斉の防災訓練を実施し、防災意識の高揚と災害対応能力の向上を図る。	計画 実績	・防災ハンドブック全戸配布 ・親子防災体験事業:1回 ・市総合防災訓練:1回 8月に緑ヶ丘地区で総合防災訓練及び親子防災体験事業を実施。3月に防災ハンドブックを作成し、市内全戸配布。	・転入世帯へ防災ハンドブック配布 ・親子防災体験事業:1回 ・市総合防災訓練:1回 ・転入世帯へ防災ハンドブックを周知 ・8月に総合防災訓練及び親子防災体験事業を実施。	・転入世帯へ防災ハンドブック配布 ・親子防災体験事業:1回 ・市総合防災訓練:1回 ・転入世帯へ防災ハンドブックを周知 ・8月に総合防災訓練及び親子防災体験事業を実施。	・転入世帯へ防災ハンドブック配布 ・親子防災体験事業:1回 ・市総合防災訓練:1回 ・転入世帯へ防災ハンドブックを周知 ・9月に総合防災訓練及び親子防災体験事業を実施。	・転入世帯へ防災ハンドブック配布 ・親子防災体験事業:1回 ・市総合防災訓練:1回 ・転入世帯へ防災ハンドブックを周知 ・8月に総合防災訓練及び親子防災体験事業を1回実施。	総務部 防災危機管理課	◎
(2)	災害時用備蓄品整備事業	災害時の応急対策と市民の安全確保を図るため、行政センターや公共施設等に備蓄用食糧など避難場所用応急物資の備蓄する。また、家庭における備蓄品準備の啓発を行うとともに、災害時応援協定の締結により生活必需品等の確保に努める。	計画 実績	・備蓄品の適正管理 ・出前講座 ・備蓄食料等の適正管理・更新を実施 ・出前講座:14回開催、参加者401名	・備蓄品の適正管理 ・出前講座 ・備蓄食料等の適正管理・更新を実施 ・出前講座:14回開催、参加者426名	・備蓄品の適正管理 ・出前講座 ・備蓄食料等の適正管理・更新を実施 ・出前講座:21回開催、参加者973名	・備蓄品の適正管理 ・出前講座 ・備蓄食料等の適正管理・更新を実施 ・出前講座:27回開催、参加者2,281名	・備蓄品の適正管理 ・出前講座 ・備蓄食料等の適正管理・更新を実施 ・出前講座:39回開催、参加者2,345名	総務部 防災危機管理課	◎
(3)	小中学校長寿命化改修事業（小中学校大規模改造事業から名称変更）【再掲】	校舎・屋内運動場等の老朽化対策として、施設の適正規模・適正配置を踏まえた長寿命化改修を行い、安全・安心な学校で快適に学ぶことができる環境づくりを進める。	計画 実績	小学校:2校 中学校:1校 小学校:2校 中学校:1校	中学校:1校 中学校:1校	実施設計:小学校1校 実施設計:小学校1校	実施設計:小学校2校 工事:小学校1校 実施設計:小学校2校 工事:小学校1校	実施設計:小学校1校 工事:小学校3校 実施設計:小学校1校 工事:小学校3校	教育総務部 総務課	◎
(4)	小中学校耐震補強事業【再掲】	小中学校施設の耐震性を確保するため、校舎及び屋内運動場の耐震補強工事等を行い、安全・安心な学校で快適に学ぶことができる環境づくりを進める。	計画 実績	校舎:小学校6校、中学校7校 屋内運動場:小学校13校、中学校1校 校舎:小学校6校、中学校7校 屋内運動場:小学校13校、中学校1校	校舎:小学校1校、中学校1校 屋内運動場:小学校10校、中学校2校 校舎:小学校1校、中学校1校 屋内運動場:小学校9校、中学校2校	屋内運動場:小学校5校、中学校4校	完了		教育総務部 総務課	-
(5)	保育所耐震化補強事業【耐震化補強工事完了のため事業終了】【再掲】	旧耐震基準の保育所の耐震補強を行い、保育所の耐震性を確保する。	計画 実績	うねめ保育所耐震補強工事 うねめ保育所耐震補強工事完了	完了				こども部 こども育成課	-
(6)	西田学園義務教育学校整備事業（仮称）西田小学校建設事業から名称変更【再掲】	心身の発達に応じた小中一貫教育による多様化及び弾力化のある義務教育を実践するため、地区内の小学校（5校）と中学校を統合し、西田中学校との一体的な施設として西田学園義務教育学校を整備する。	計画 実績	学校建設調査設計 地質調査、敷地造成・建物実施設計	敷地造成工事、校舎・屋内運動場、屋内プール建設工事、中学校校舎大規模改造工事 敷地造成工事、校舎・屋内運動場、屋内プール建設工事、中学校校舎大規模改造工事	敷地造成工事、校舎・屋内運動場、屋内プール建設工事、中学校校舎大規模改造工事	完了		教育総務部 総務課	-
(7)	セーフコミュニティ推進事業【再掲】	セーフコミュニティを中心概念とした協働による安全で安心なまちづくりを推進する。	計画 実績	- -	- -	- -	・説明会、安全・安心の意見交換会開催・セーフコミュニティ推進体制を構築・第3回けがや事故に関する地域診断の実施 ・説明会（職員向けを除く）等の実施 40回 ・推進体制の準備会 19回 ・第3回地域診断の実施	・説明会、安全・安心の意見交換会開催 ・企業との連携強化の推進 ・説明会（職員向けを除く）等の実施 84回 ・セーフコミュニティ活動推進事業所連携事業の登録 25事業所	市民部 セーフコミュニティ課	◎